

# 国道201号 八木山バイパス【直轄】

- 国道201号八木山バイパスは、福岡都市圏と筑豊地域を結ぶ国道201号の2車線区間を4車線化することにより、交通ボトルネックを解消し、信頼性の高いネットワークを構築するとともに、対面通行区間を解消し、安全・安心の確保を目的とする4車線拡幅事業。
- 災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、橋梁上・下部工工事を実施することで、筑穂IC～穂波東IC間の令和11年度の開通を確実にし、道路ネットワークの機能強化を推進。

## 《位置図》



## 《諸元等》

|       |                       |
|-------|-----------------------|
| 事業区間  | 福岡県糟屋郡篠栗町篠栗<br>～飯塚市弁分 |
| 延長    | 13.3km                |
| 全体事業費 | 381億円                 |
| R6補正  | 4.1億円(事業費)            |

## 《整備効果》

○ 当該道路の整備により、片側2車線の信頼性の高いネットワークが構築され、積雪時や交通事故による交通規制リスクを軽減

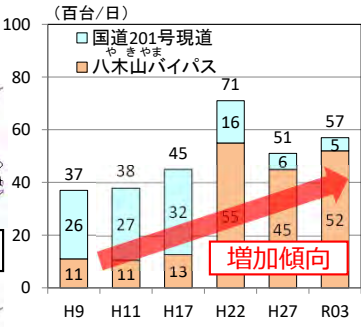
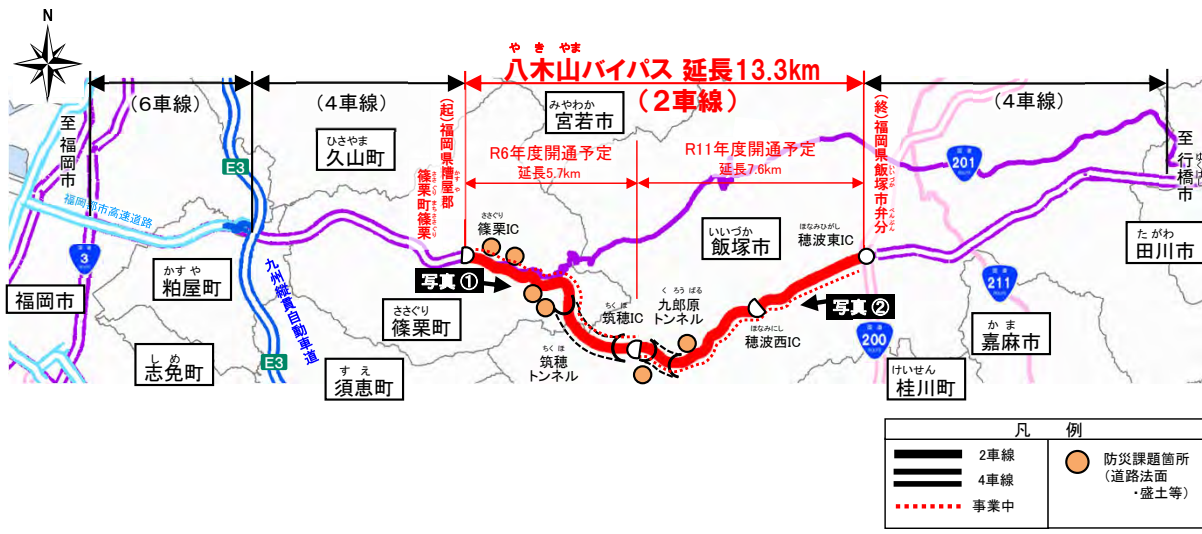
【写真①】スタック車両の発生状況



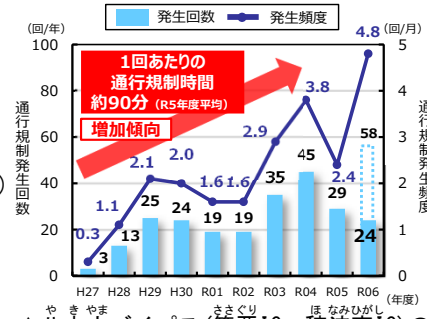
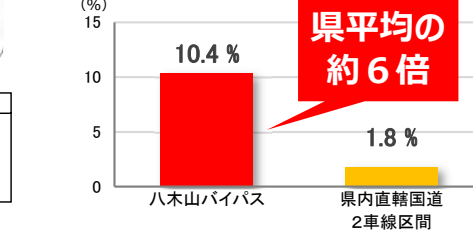
【写真②】正面衝突事故の発生状況



## 《路線位置図》



八木山バイパス  
(篠栗IC～穂波東IC)  
の大型車交通量  
資料：一般交通量調査  
(H9～R03)  
※H22は無料化社会実験中



▲ 八木山バイパス (篠栗IC～穂波東IC) の  
通行規制発生状況  
資料：国土交通省  
(※R6年度は4～8月の発生頻度より回数を想定)

八木山バイパス  
(篠栗IC～穂波東IC)  
の正面衝突事故発生割合  
資料：交通事故総合データベース  
(R1～R4)

# 国道497号 今宿道路【直轄】

- 国道497号今宿道路は、西九州自動車道の一部を構成し、九州北西部地域の地域経済の活性化、高速定時性の確保等に寄与するとともに、周辺地域の交通混雑の解消を目的とする道路。
- 災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、改良工事、橋梁下部工工事を実施することで、道路ネットワークの機能強化を推進。

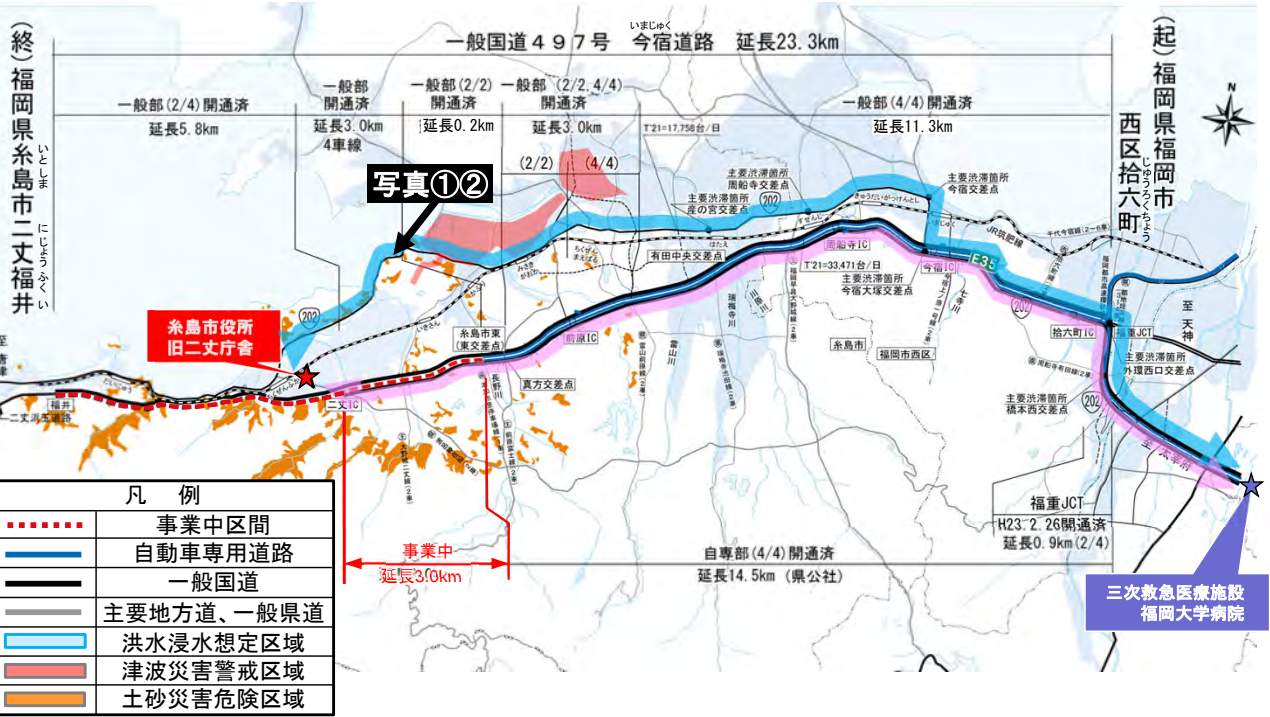
### 《位置図》



### 《諸元等》

|       |                         |
|-------|-------------------------|
| 事業区間  | 福岡県福岡市西区拾六町<br>～糸島市二丈福井 |
| 延長    | 23.3km                  |
| 全体事業費 | 2,791億円                 |
| R6補正  | 13.6億円(事業費)             |

### 《路線位置図》



### 《整備効果》

○ 当該道路の整備により、一般道に災害があった場合でも、強靱で信頼性の高いネットワークを構築



写真① 至 唐津市  
▲H22.7.13 道路冠水 (糸島市加布里地区)



写真② 至 唐津市  
▲H22.7.13 法面崩壊 (糸島市二丈浜窪地区)

○ 当該道路の整備により、三次救急医療施設への搬送時間の短縮(約56分⇒約23分)が図られ、定時性の向上により安定的な搬送を確保。



※令和3年度 全国道路・街路交通情勢調査(混雑時旅行速度)を基に、糸島市役所旧二丈庁舎から最寄りの三次救急医療施設にて算出

# 福岡10号 交通安全対策【直轄】

- 当該箇所は、近傍に角田<sup>すだ</sup>小学校及び角田<sup>すだ</sup>中学校が立地し、児童の通学路として利用されているが、歩道幅員に一部狭小な箇所があるため、歩行者と車両の接触事故の危険性が高く、安全が確保されていない状況。
- 本事業は、歩道の拡幅を行うことにより歩行者の安全・安心の確保を図り、歩行者と車両の接触事故防止を図る事業。
- 通学路等の安全な通行を確保するため、補正予算の充当により、歩道拡幅工事を実施することで令和3年度通学路合同点検結果等を踏まえた交通安全対策を推進。

## ○国道10号 松江地区歩道整備

《位置図》



《諸元等》

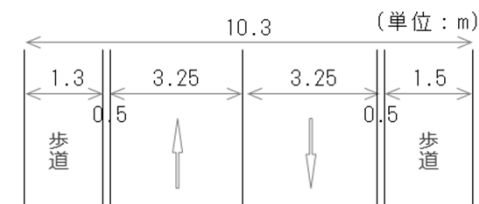
事業区間：福岡県豊前市松江<sup>ぶぜん しょうえ</sup>  
 延長：0.8km  
 R6補正：0.9億円(事業費)

《平面図》

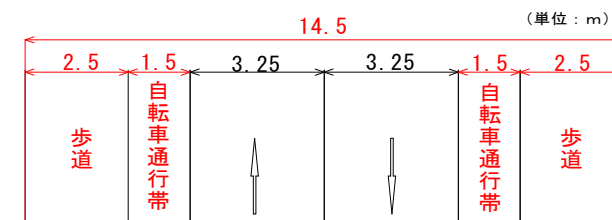


《計画横断図》

現況



計画



《現地状況写真》



- 国道202号は、福岡県福岡市を起点とし長崎県長崎市に至る全長約130kmの主要幹線道路であり、第一次緊急輸送道路に指定。
- 予防保全型インフラメンテナンスへの転換を図るため、補正予算の充当により、国道202号管内において、附属物修繕等を実施することで、早期に対策が必要な道路施設の老朽化対策を集中的に実施。

福岡県

国道202号管内

事業区間 : 福岡県福岡市～糸島市<sup>いとしま</sup>  
延長 : 約44km  
R6補正 : 0.06億円(事業費)

事業個所

至 新宮町

至 唐津市

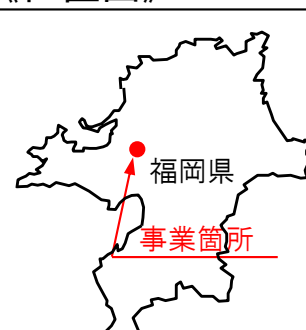
腐食によるボルト欠損

# 主要地方道 筑紫野古賀線(須恵工区)【補助】

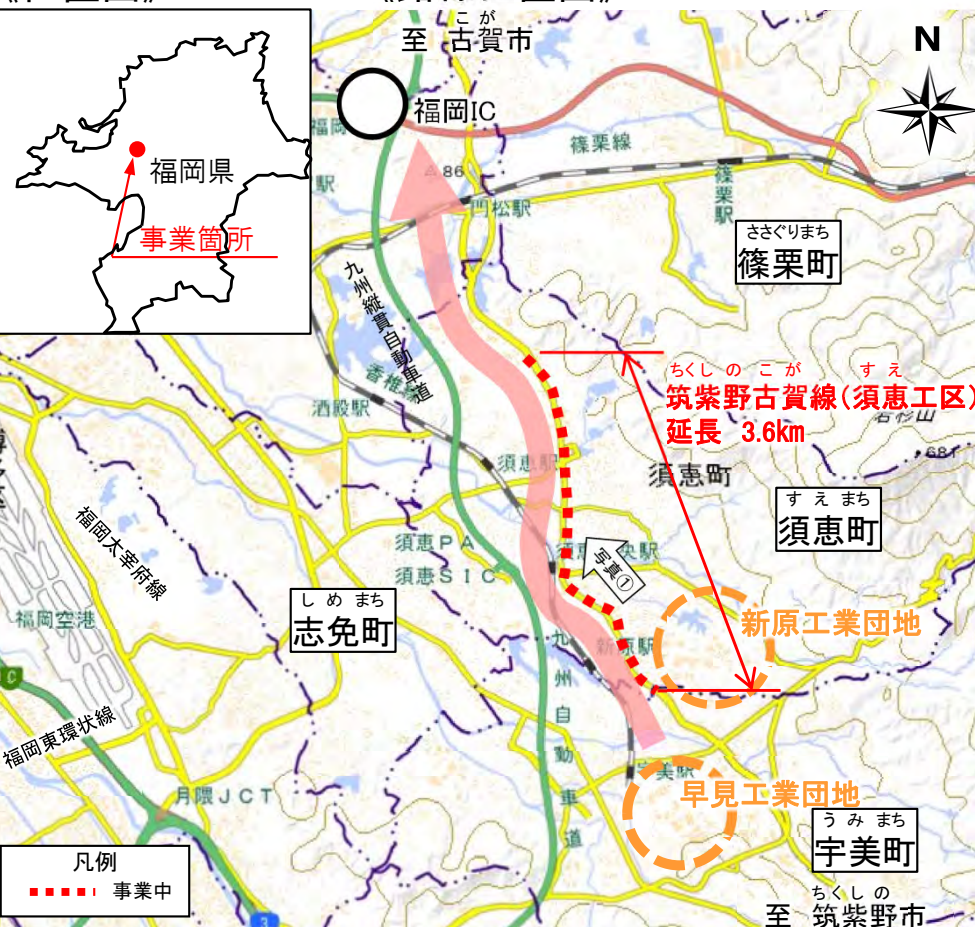
■主要地方道筑紫野古賀線は、新原工業団地等(建設資材関連製品・自動車販等)から九州縦貫自動車道福岡ICへのアクセス強化等を目的とする道路。当該箇所を4車線化することにより、慢性的な交通混雑を解消し、重要物流道路としての機能を強化することで、物流ネットワークの確保を目的とする事業。

■迅速かつ円滑な物流・人流を確保するため、補正予算の充当により、改良工事を実施することで、地方を支える産業等の生産性向上に寄与する道路ネットワークの整備を推進。

## 《位置図》



## 《路線位置図》



## 《諸元等》

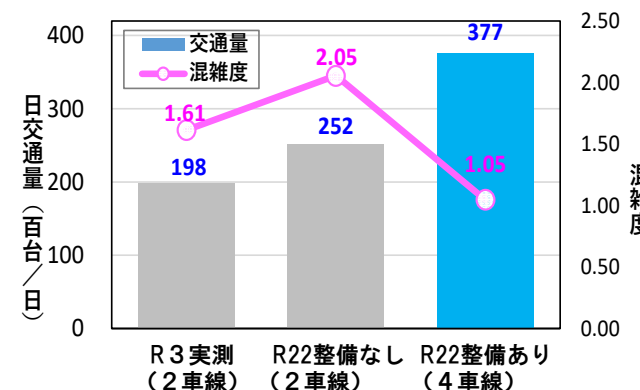
- 事業区間：福岡県糟屋郡 須恵町新原～植木
- 延長：3.6km
- 全体事業費：90.0億円
- R6補正：0.9億円(事業費)

## 《現地状況写真》



## 《整備効果》

○新原工業団地をはじめとする周辺の工業団地から九州縦貫自動車道へのアクセスが強化(渋滞解消等)されることで、輸送コストの縮減や物流の効率化が図られ、地域経済の活性化や産業振興が期待される。



# 国道208号 大川佐賀道路【直轄】

- 国道208号大川佐賀道路は、重要港湾三池港、九州佐賀国際空港などの広域交通拠点及び有明海沿岸の都市群を連携する高規格道路「有明海沿岸道路」の一部を構成する道路。
- 災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、用地買収、改良工事を実施することで、道路ネットワークの機能強化を推進。

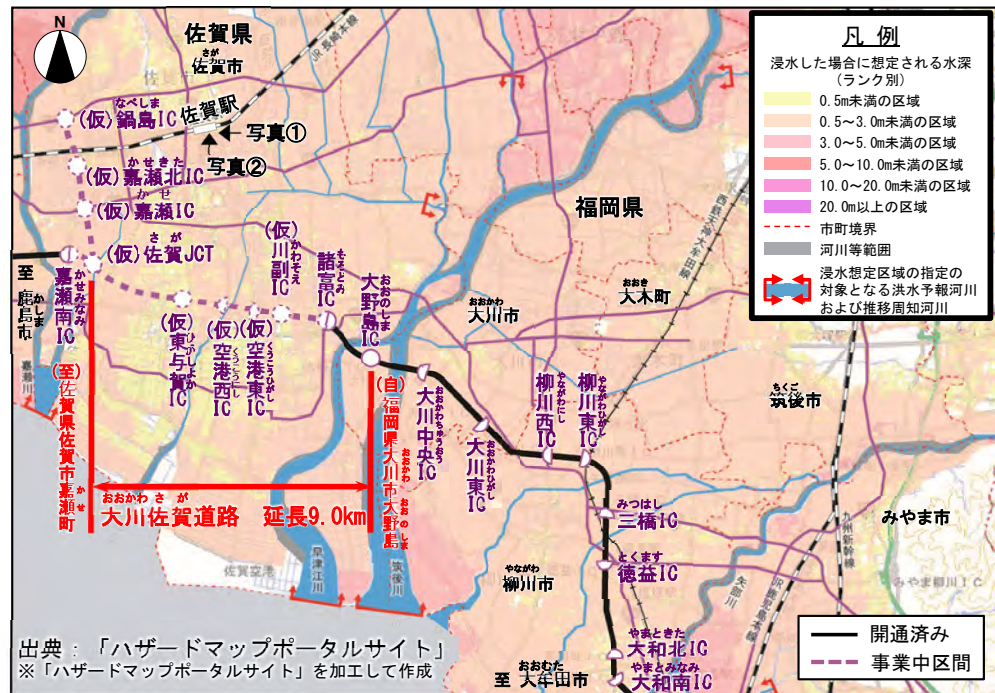
## 《位置図》



## 《諸元等》

|       |                                     |
|-------|-------------------------------------|
| 事業区間  | 福岡県大川市大野島<br>～佐賀県佐賀市嘉瀬町             |
| 延長    | 9.0km                               |
| 全体事業費 | 986億円                               |
| R6補正  | 8.7億円(事業費)<br>(うち福岡県0.0億円、佐賀県8.7億円) |

## 《路線位置図》



## 《整備効果》

- 当該道路の整備により、浸水時の避難経路や災害時の人命救助活動・物資輸送のための緊急輸送道路として機能され、道路ネットワークの機能強化を推進

＜浸水状況写真：令和元年8月豪雨＞

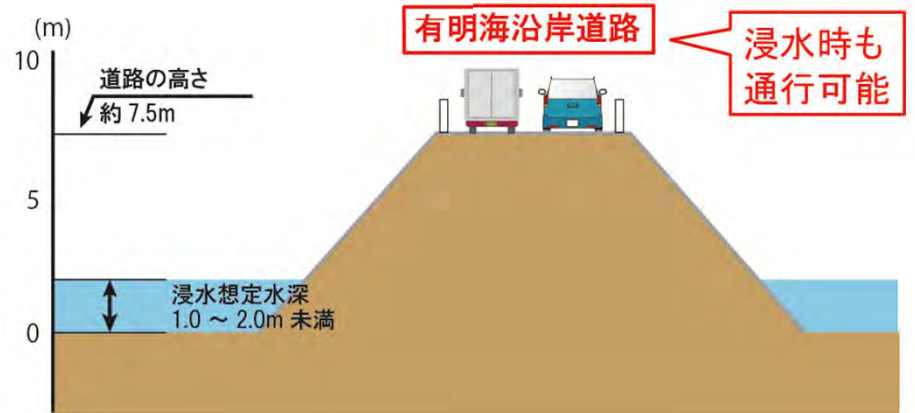


写真① 佐賀駅バスセンター前



写真② JR佐賀駅前

## ◆ 浸水時横断イメージ図（大野島IC）



# 国道497号 伊万里道路【直轄】

- 国道497号伊万里道路は、西九州自動車道の一部を構成し、九州北西部地域の地域経済の活性化、高速定時性の確保等に寄与するとともに、伊万里地域の幹線道路である国道202号の代替機能確保を目的とする道路。
- 災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、改良工事を実施することで、道路ネットワークの機能強化を推進。

## 《位置図》



## 《諸元等》

|       |                            |
|-------|----------------------------|
| 事業区間  | 佐賀県伊万里市南波多町府招<br>～同市東山代町長浜 |
| 延長    | 6.6km                      |
| 全体事業費 | 339億円                      |
| R6補正  | 10.9億円(事業費)                |

## 《路線位置図》



## 《整備効果》

- 並行する国道202号には、土石流氾濫区域、急傾斜地危険区域が存在しており、平成18年9月には大雨による大規模な地すべり災害により、7日間の全面通行止めが発生。
- 当該道路の整備により、国道202号の代替路を確保し、災害時における信頼性の高い道路ネットワークの機能強化を推進。

《地すべり災害被災状況写真(H18.9)》



※ 伊万里道路は設計速度(80km/h)、その他の道路はR3全国道路・街路交通情勢調査の混雑時旅行速度を用いて所要時間を算出

# 佐賀203号 交通安全対策【直轄】

- 当該箇所は、近傍に東原<sup>とうげんしや</sup>庫舎<sup>くさ</sup>東部校<sup>とうぶこう</sup>が立地し、児童の通学路として利用されているが、歩道が未整備で歩行者の安全が確保されていない状況。
- 本事業は、児童が通学経路として利用している歩道を整備することにより、安全安心な歩道空間の確保及び快適な交通環境の確保を図り、歩行者と車両の接触事故防止を図る事業。
- 通学路等の安全な通行を確保するため、補正予算の充当により、用地調査を実施することで令和3年度通学路合同点検結果等を踏まえた交通安全対策を推進。

## ○国道203号 別府<sup>べふ</sup>歩道整備

### 《位置図》

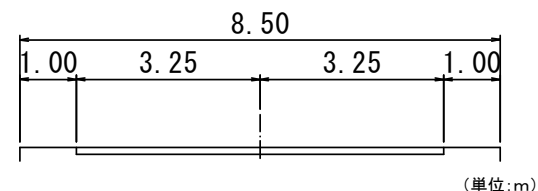


### 《諸元等》

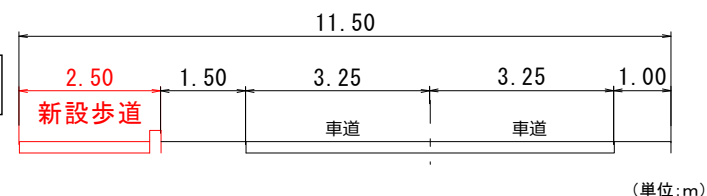
事業区間：佐賀県<sup>たく</sup>多久市<sup>ひがしたく</sup>東多久町<sup>まち</sup>大字<sup>べふ</sup>別府  
 延長：0.3km  
 R6補正：0.1億円(事業費)

### 《計画横断図》

現況



計画



### 《平面図》



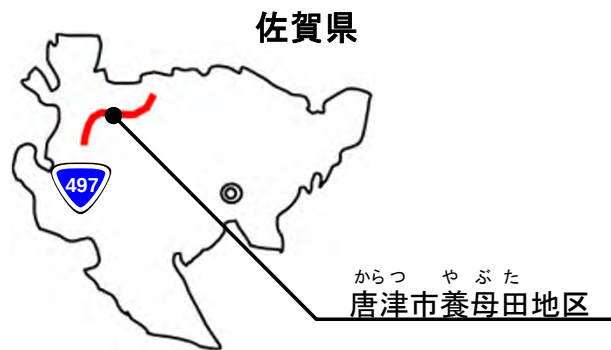
### 《現地状況写真》



# 佐賀497号 省エネ化・再エネ活用(太陽光)【直轄】

- 国道497号は、福岡県福岡市を起点とし、佐賀県武雄市に至る全長約48kmの主要幹線道路であり、第一次緊急輸送道路に指定。
- カーボンニュートラルの実現に向け、補正予算の充当により、国道497号養母田トンネルにおいて太陽光発電設備を整備することで、道路における再生可能エネルギーの活用を図る。

## 《位置図》



## 《平面図》



## 《諸元等》

|      |             |
|------|-------------|
| 事業区間 | 佐賀県唐津市養母田地区 |
| 延長   | —           |
| R6補正 | 0.3億円(事業費)  |

## 《現地状況写真》



【写真①】



【写真②】

## 《対策イメージ》



※出典:道路における太陽光発電設備の設置に関する技術面の考え方  
(国土交通省道路局)

# 国道444号 佐賀福富道路【補助】

■佐賀福富道路は、有明海沿岸道路の一部を構成し、国道444号の交通混雑の緩和や交通安全の確保を図るとともに、災害発生時の救急・救援物資の輸送機能の強化、医療施設へのアクセス性の向上などを目的とする道路。

■災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、道路改良工事を実施することで、道路ネットワークの機能強化を推進。

## 《位置図》



## 《諸元等》

事業区間：佐賀県佐賀市嘉瀬町中原  
～白石町福富下分

延長：10.5km  
全体事業費：620億円  
R6補正：5.8億円(事業費)

## 《現地状況写真》



## 《整備効果》

- 渋滞による高次医療施設への搬送の遅延が減少するとともに走行性向上による安全な搬送が期待される。
- 災害時における航空輸送施設に指定されている九州佐賀国際空港や防災航空センターへのアクセス性を強化し、迅速な救援・救助、復旧・供給活動を支援する。

## 《路線位置図》



三次救急救命センター  
佐賀県医療センター好生館

▲佐賀県医療センター好生館HPより

航空輸送施設(指定)  
九州佐賀国際空港、防災航空センター

▲佐賀県防災航空センター

一般県道山浦肥前鹿島停車場線 廣瀬橋 道路メンテナンス補助事業【補助】

- 一般県道山浦肥前鹿島停車場線廣瀬橋は鹿島市納富分地区の重要な路線上の橋梁であり、1977年（橋齢47年）の架橋から老朽化が進み、早期に措置を講ずべき状態（判定区分Ⅲ）。
- 廣瀬橋は、コンクリートのひび割れや支承部の腐食などの劣化が著しく進行していることから、補正予算の充当により新技術を活用したひび割れ補修等の修繕工事を進捗することで、地域防災上の安全・安心の確保を図るとともに予防保全型メンテナンスへの早期転換を図る。

《諸元等》

《長寿命化修繕計画》

- 計画の名称：佐賀県橋梁長寿命化修繕計画
- 事業主体：佐賀県
- OR 6 補正：4.1億円（事業費）

《代表事例》

- 事業箇所：廣瀬橋（橋長：35.5m）
- 架設年次：1977年
- 判定区分：Ⅲ（早期措置段階）
- 路線名：一般県道山浦肥前鹿島停車場線
- 所在地：佐賀県鹿島市納富分

《事業箇所》



全景（写真①）

《劣化状況》

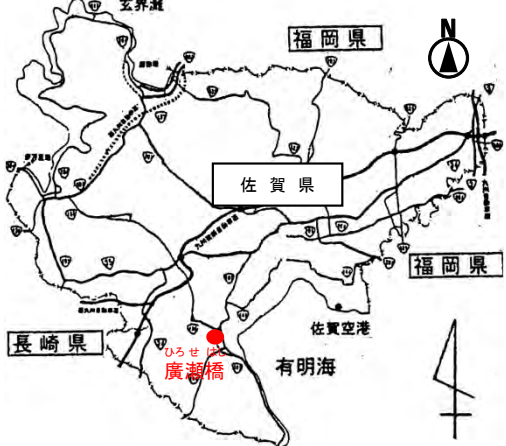


床版のひび割れ

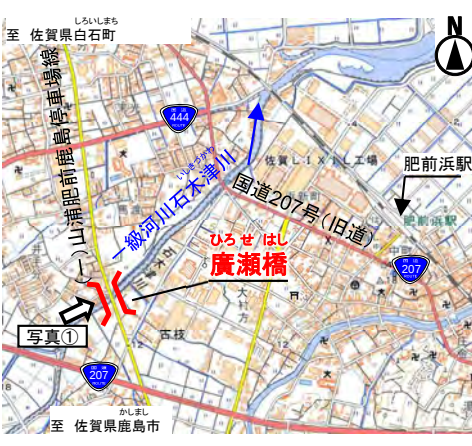


支承部の腐食

《位置図》

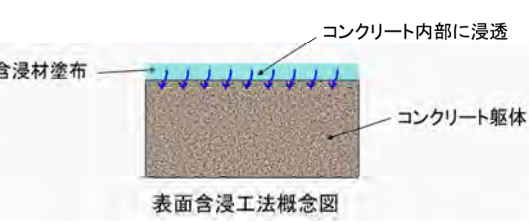


《平面図》



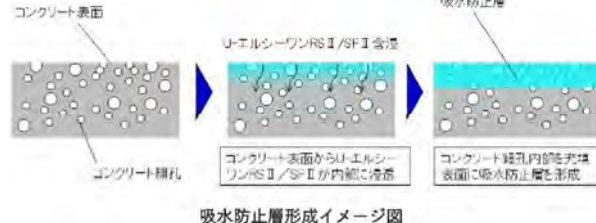
《対策イメージ》新技術活用例（床版のひび割れ）

従来技術



表面含浸工法概念図

新技術活用（高浸透性）



吸水防止層形成イメージ図

△複数回の塗布が必要

△材料がダレ易く、周囲への流出対策が必要

△材料の粘度が高く、施工性が悪い

◎1回で所定量の塗布ができる

◎材料がダレ難く、流出対策が最小限で済む

◎施工しやすい粘度の材料である

⇒従来技術に比べ約10万円のコスト縮減

# 1級市道 提川～川西線 交通安全対策【補助】

■ 令和3年度通学路合同点検で抽出された道路管理者による対策必要箇所において、通学路の安全な通行を早期に確保するため、補正予算の充当により、市道提川～川西線(川西工区)の歩道整備を実施することで、学校等が実施するソフト対策と組み合わせた交通安全対策を推進。

## 《位置図》



## 《現地状況写真》



▲ 小・中学生が狭い歩行空間を通行する必要があるため危険



▲ 歩道の設置により安全な歩行空間を確保(整備済区間)



▲ 歩道設置

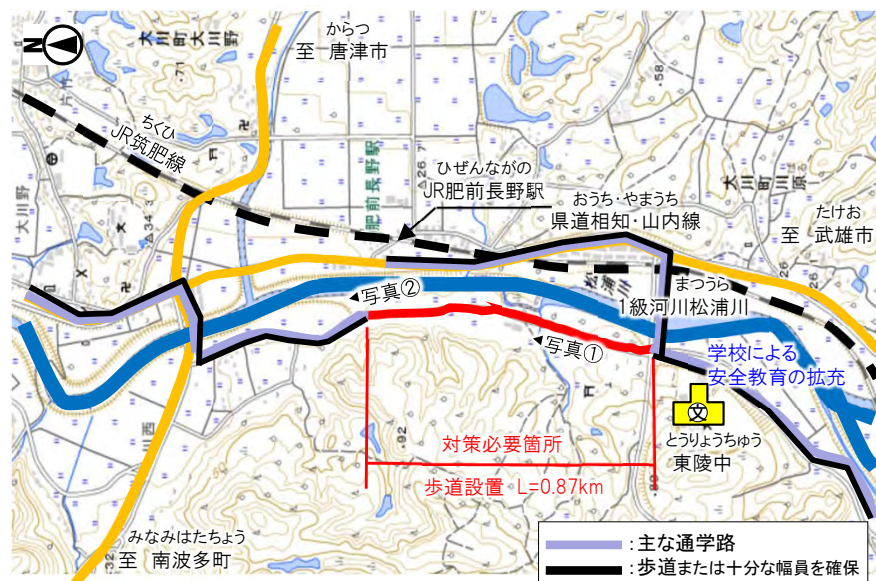
## 《諸元等》

《佐賀県伊万里市通学路緊急対策推進計画》  
OR6補正:0.31億円(事業費)

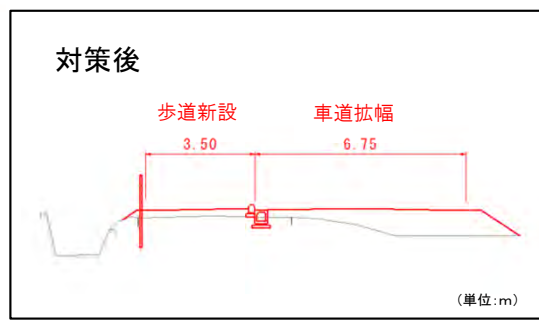
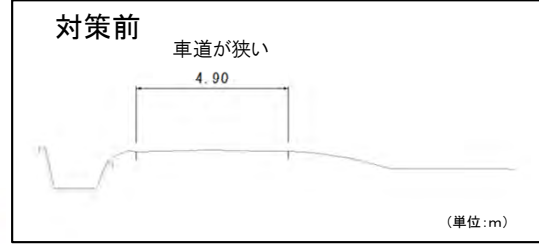
《代表事例》  
○路線名:1級市道提川～川西線(川西工区)  
○事業箇所:佐賀県伊万里市松浦町～大川町  
○整備延長:L=0.87km  
○事業主体:伊万里市

| 対策内容                             |                           |
|----------------------------------|---------------------------|
| 【学校・地元住民など】<br>・学校による安全教育(内容の拡充) | 【道路管理者】<br>・歩道新設<br>・車道拡幅 |

## 《路線位置図》



## 《横断図》



# 国道57号 森山拡幅【直轄】

- 国道57号森山拡幅は、島原半島と諫早市を結ぶ島原道路の一部を構成し、諫早市内及び周辺部の交通混雑の緩和及び交通安全の確保を目的とする道路。
- 災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、改良工事、橋梁上部工工事を実施することで、道路ネットワークの機能強化を推進。

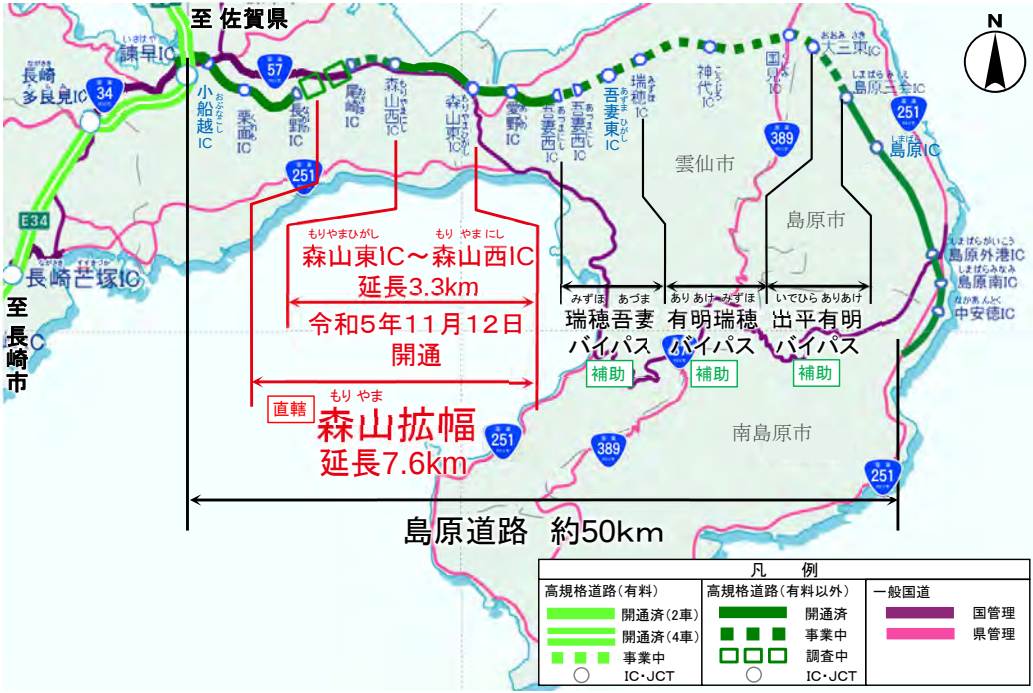
## 《位置図》



## 《諸元等》

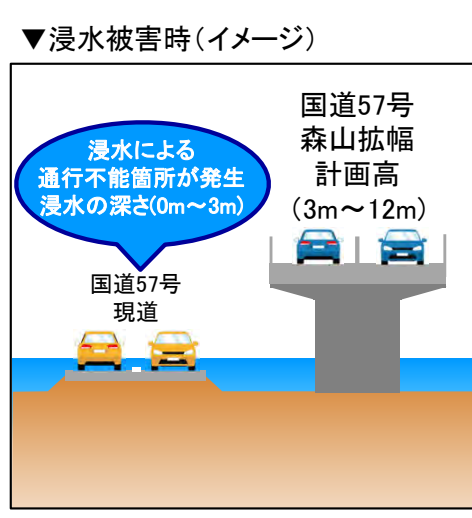
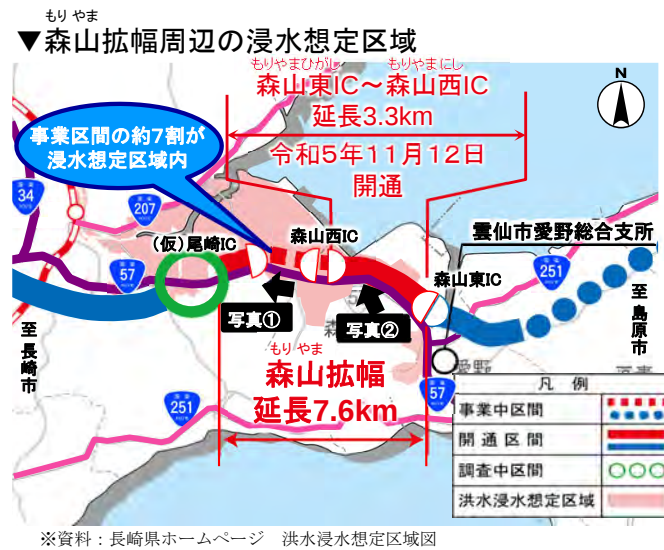
|       |                       |
|-------|-----------------------|
| 事業区間  | 長崎県雲仙市愛野町乙<br>～諫早市長野町 |
| 延長    | 7.6km                 |
| 全体事業費 | 594億円                 |
| R6補正  | 7.9億円(事業費)            |

## 《路線位置図》



## 《整備効果》

○ 当該道路の整備により、洪水浸水被害に強い緊急輸送道路として機能。これにより、道路ネットワークの機能強化を推進。



▲ 大雨による国道57号の路面冠水状況



▲ 大雨による国道57号周辺地域の浸水状況

# 国道497号 松浦佐々道路【直轄】

- 国道497号松浦佐々道路は、西九州自動車道の一部を構成し、九州北西部地域の地域経済の活性化、高速定時性の確保等に寄与するとともに、北松地域の唯一の幹線道路である一般国道204号の代替機能確保を目的とする道路。
- 災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、改良工事、舗装工事、道路附属物工事を実施することで、松浦IC～平戸IC間の令和7年度の開通を確実にし、道路ネットワークの機能強化を推進。

## 《位置図》



## 《諸元等》

事業区間：長崎県松浦市志佐町  
～北松浦郡佐々町沖田免

延長：19.1km  
全体事業費：1,130億円  
R6補正：28.3億円(事業費)

## 《路線位置図》



## 《整備効果》

- 並行する国道204号は、過去に法面崩壊が発生
- 当該道路の整備により、国道204号の代替路を確保し、道路ネットワークの機能強化を推進。



▲国道204号法面崩壊の状況（提供：長崎県）

# 長崎35号 維持管理(老朽化対策)【直轄】

■国道35号は、佐賀県武雄市を起点とし、長崎県佐世保市に至る全長約35kmの主要幹線道路であり、第一次緊急輸送道路に指定。

■通学路等の安全な通行の確保に向けた道路交通環境を整備するため、補正予算の充当により、国道35号佐世保市早苗地区において、舗装修繕を合わせて実施することで、交通安全対策を推進。

## 《位置図》



## 《平面図》



## 《諸元等》

事業区間 : 長崎県佐世保市早苗地区  
延長 : 約0.9km  
R6補正 : 0.8億円(事業費)

## 《現地状況写真》



【全景①】



【近景】

## 《対策イメージ》



# 主要地方道 長崎南環状線(新戸町～江川町工区)【補助】

■迅速かつ円滑な物流・人流を確保するため、補正予算の充当により、主要地方道長崎南環状線（新戸町～江川町工区）の道路改良工事、橋梁上部工事等を推進することで、地方を支える産業等の生産性向上に寄与する道路ネットワークの整備等を推進。

## 《位置図》



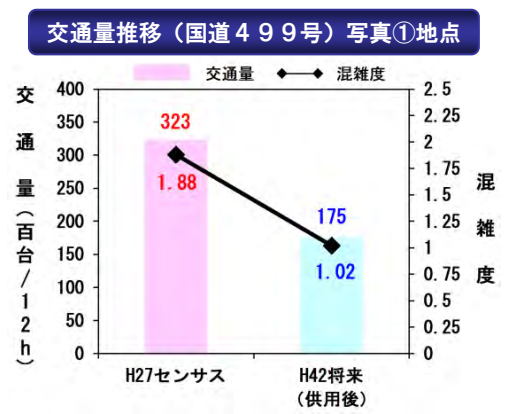
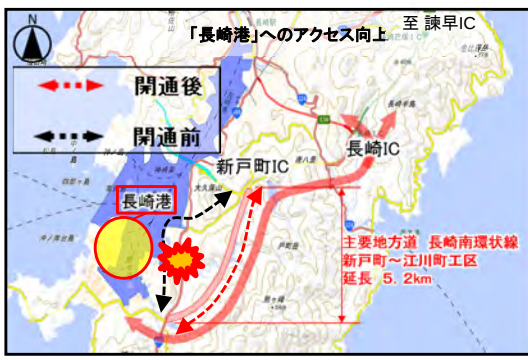
## 《諸元等》

- 事業区間：長崎県長崎市新戸町～長崎市江川町
- 延長：5.2km
- 全体事業費：250億円
- R6補正：8.0億円(事業費)

## 《整備効果》

- バイパスの整備により、新戸町IC～長崎港間の所要時間が約6分短縮されることで、県下有数の産業都市である諫早市と長崎港とのアクセスが向上するとともに、定時性が確保される。
- 並行する国道499号に集中していた交通が分散されることで渋滞緩和が図られるとともに、事故多発交差点を避けることができ、円滑な物流・人流が確保できる。

## 《路線位置図》



○新戸町IC～長崎港間の所要時間  
現況：約15分  
開通後：約9分  
約6分短縮

バイパスの開通により混雑度が緩和され、事故などによる交通の低下も防げる事による定時制・アクセス性の向上

事故多発交差点(長崎市磯道町国道499号)  
令和5年度事故発生件数:4件  
出典:長崎県警察【交通事故多発交差点】

出典:  
R3全国道路・街路交通情勢調査混雑時旅行速度より  
【現況】現道利用ルート  
【整備後】事業中区間利用ルート  
(※事業区間の端部が現道取り付けとなる類似区間の旅行速度を使用)

# 国道3号 芦北出水道路【直轄】

■国道3号芦北出水道路は、南九州西回り自動車道の一部を構成し、自然災害等による九州縦貫自動車道の通行止め時の代替機能の確保等を目的とする道路。

■災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、改良工事、橋梁上部工工事を実施することで、道路ネットワークの機能強化を推進。

## 《位置図》



## 《諸元等》

|       |                                              |
|-------|----------------------------------------------|
| 事業区間  | 熊本県葦北郡芦北町花岡<br>～鹿児島県出水市下知識町                  |
| 延長    | 29.6km                                       |
| 全体事業費 | 1,923億円                                      |
| R6補正  | 24.2億円(事業費)<br>(うち熊本県 14.3億円、<br>鹿児島県 9.9億円) |

## 《路線位置図》



## 《整備効果》

○南九州西回り自動車道と九州縦貫自動車道でダブルネットワークを形成することで、道路ネットワークの機能強化を推進。

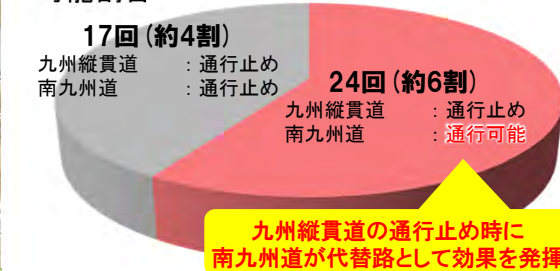


▲九州縦貫道と南九州道の概況図  
(平成28年1月19～20日)



▲えびのJCT付近の積雪状況(写真)

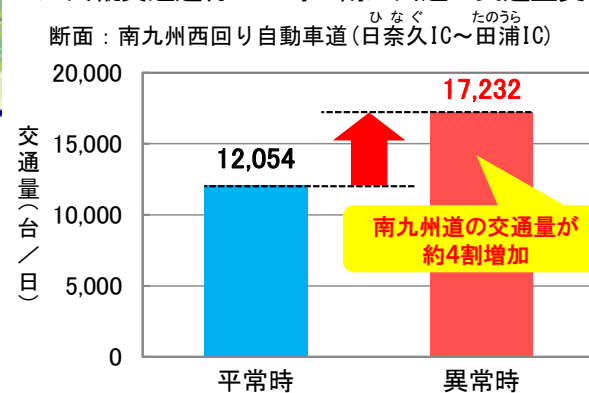
## ■九州縦貫道通行止め時の南九州道の通行可能割合



九州縦貫道の通行止め時に南九州道が代替路として効果を発揮

資料：八代河川国道事務所調査  
対象：八代IC～鹿児島ICの通行止め回数  
(雨雪による九州縦貫道通行止め時)  
期間：H26～R5

## ■九州縦貫道通行止め時の南九州道の交通量変化



南九州道の交通量が約4割増加

資料：八代河川国道事務所調査  
期間：平常時九州縦貫道：規制無し H28.1.12(火)、2/2(火)の平均  
異常時九州縦貫道：通行止め H28.1.19(火)

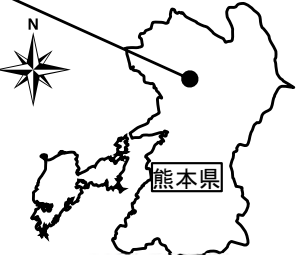
# 国道57号 大津道路・大津熊本道路(大津西～熊本)【直轄】

■国道57号大津道路・大津熊本道路は、大分市と熊本市を結ぶ中九州横断道路の一部を構成し、沿線地域の産業発展や地域活性化に寄与するとともに、災害に強いネットワークの構築を目的とする道路。

■物流・人流の速達性向上のため、補正予算の充当により、国道57号大津道路、大津熊本道路(大津西～合志)において調査設計、大津熊本道路(合志～熊本)において改良工事を実施することで、地域を支える産業等の生産性向上に寄与する道路ネットワークの整備等を推進。

### 《位置図》

一般国道57号  
大津道路  
大津熊本道路(大津西～合志)  
大津熊本道路(合志～熊本)



### 《諸元等》

|       |                                                                             |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------|
| 事業区間  | 熊本県菊池郡大津町大字高尾野～熊本市北区大鳥居町                                                    |
| 延長    | 18.6km<br>(大津道路:4.8km<br>大津熊本道路(大津西～合志):4.7km<br>大津熊本道路(合志～熊本):9.1km)       |
| 全体事業費 | 1,180億円<br>(大津道路:340億円<br>大津熊本道路(大津西～合志):310億円<br>大津熊本道路(合志～熊本):530億円)      |
| R6補正  | 22.8億円(事業費)<br>(大津道路:0.8億円<br>大津熊本道路(大津西～合志):2.0億円<br>大津熊本道路(合志～熊本):20.0億円) |

### 《路線位置図》



博多港 福岡空港 から国内外へ

大津熊本道路(合志～熊本) 延長9.1km

大津熊本道路(大津西～合志) 延長4.7km

大津道路 延長4.8km

大手二輪車メーカー 国内唯一の生産拠点を

世界最大半導体メーカーの進出

【大津道路・大津熊本道路を活用した製品輸送の例】

熊本港から原材料を輸送

大津道路・大津熊本道路利用 原材料輸送

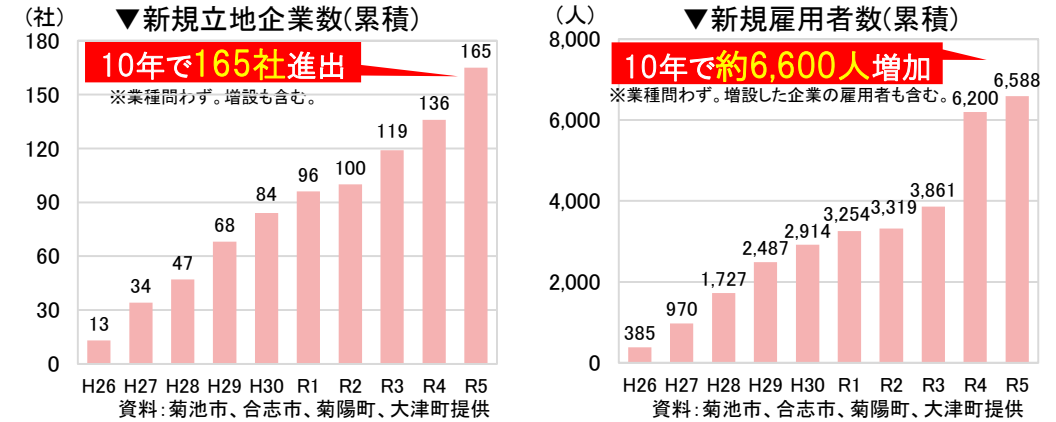
大津道路・大津熊本道路利用 半導体・二輪車製造工場

大津道路・大津熊本道路利用 福岡空港 半導体・二輪車輸送

### 《整備効果》

○大津道路、大津熊本道路沿線地域※は製造品出荷額が県内第1位の工業地域であり、半導体関連工場や二輪四輪車関連工場等が集積。新たな工業団地の開発も進んでいる。  
※:菊池市、合志市、菊陽町、大津町

○広域道路ネットワーク整備により、走行性の向上と所要時間の短縮が図られ、沿道地域の更なる産業発展、地域活性化に期待。



### ▼沿線への世界最大半導体メーカーの進出(R6.2.24開所)

写真 世界最大半導体メーカー (第一工場・第二工場)

投資額 約3兆3,750億円

新規雇用者数 約3,400人以上予定

※投資額:R6.2.24時点、新規雇用者数:R6.7.4時点

大津熊本道路

世界最大半導体メーカー

大津道路

大津西IC(仮称)

大分県

熊本県

# 国道57号 宇土道路、宇土三角道路【直轄】

■宇土道路及び宇土三角道路は、熊本市と天草市を結ぶ高規格道路熊本天草幹線道路の一部を構成し、宇土半島に存在する特殊通行規制区間に対する代替機能確保及び交通事故の低減を目的とする道路。

■災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、国道57号宇土道路において改良工事、橋梁上・下部工工事、宇土三角道路において調査設計を実施することで、道路ネットワークの機能強化を推進。

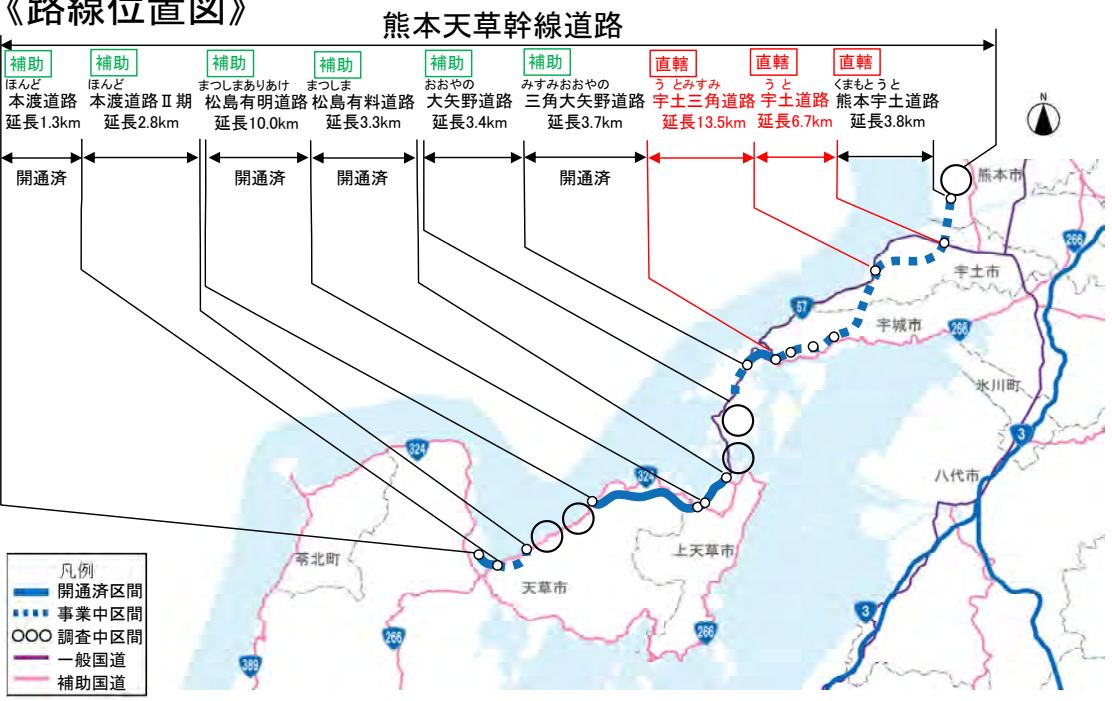
## 《位置図》



## 《諸元等》

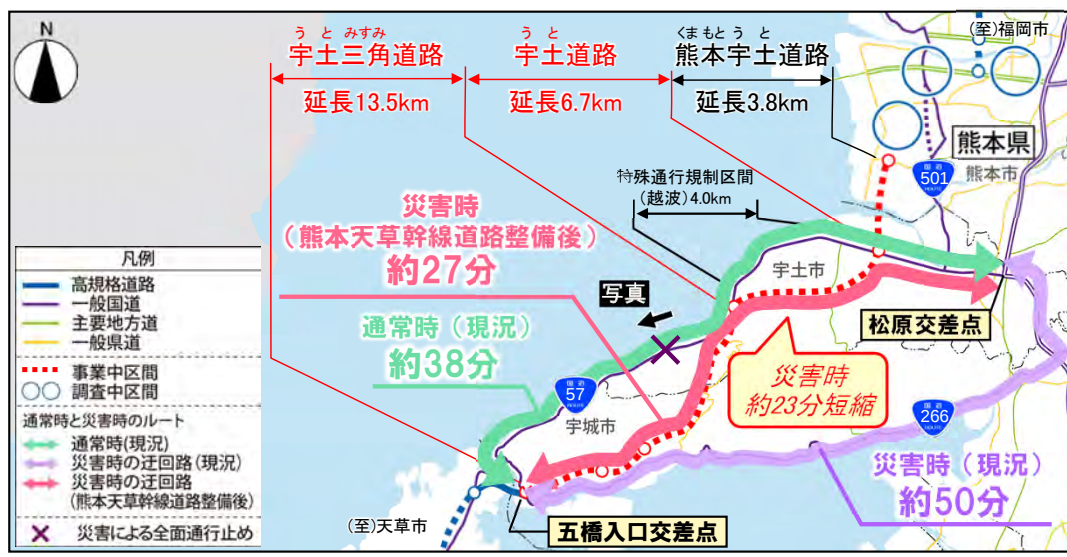
|       |                                            |
|-------|--------------------------------------------|
| 事業区間  | 熊本県宇土市城塚町～宇土市上網田町                          |
| 延長    | 20.2km<br>宇土道路：6.7km<br>宇土三角道路：13.5km      |
| 全体事業費 | 1,181億円<br>宇土道路：434億円<br>宇土三角道路：747億円      |
| R6補正  | 11.3億円(事業費)<br>宇土道路：10.3億円<br>宇土三角道路：1.0億円 |

## 《路線位置図》

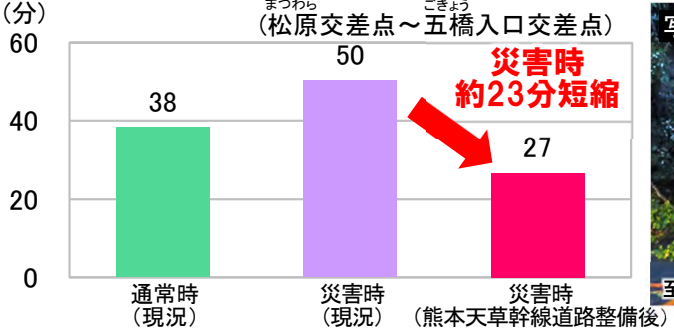


## 《整備効果》

○当該道路の整備により、特殊通行規制区間を回避する緊急輸送道路として機能。これにより、道路ネットワークの機能強化を推進。



## ■災害時の所要時間比較



## ■過去の被災状況



※通常時(現況)国道57号經由、災害時(現況)国道266号經由  
災害時(熊本天草幹線道路整備後)宇土道路・宇土三角道路經由  
※宇土道路・宇土三角道路は設計速度80km/hで算出  
資料：全国道路・街路交通情勢調査(R3)

# 熊本3号 電線共同溝【直轄】

■無電柱化は、防災、安全かつ円滑な交通の確保、良好な景観の形成等を図ることを目的として事業を推進。

■補正予算の充当により、当該箇所は無電柱化を推進することで、災害時における緊急輸送道路の機能確保並びに安全で快適な歩行空間の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援。

## ○国道3号 みなみ たか え 南高江地区電線共同溝

### 《位置図》

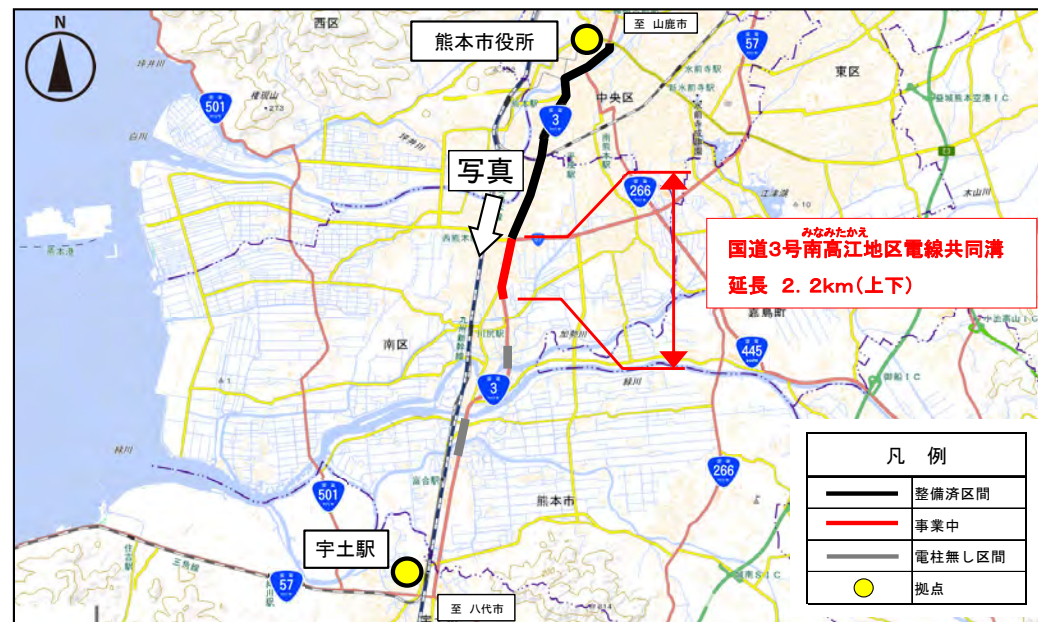


### 《諸元等》

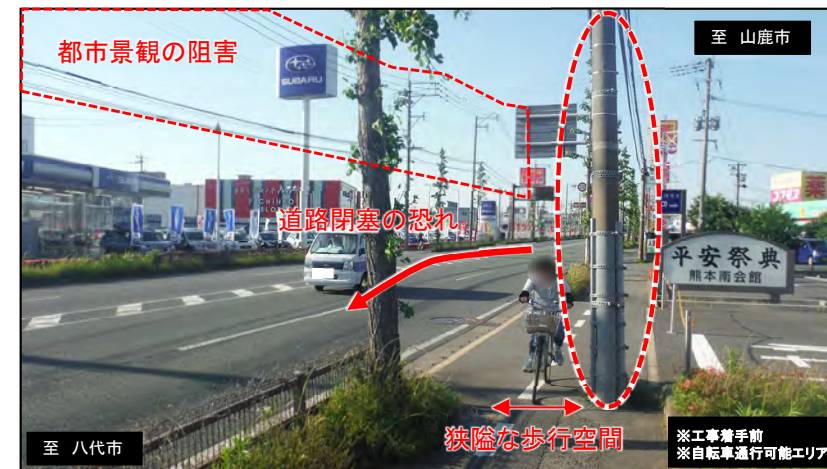
事業区間：みなみ ちか み まち 熊本県熊本市南区近見町7丁目  
みなみ みなみたか え まち ～熊本市南区南高江町5丁目

延長：2.2km  
 全体事業費：37.0億円  
 R6補正：1.0億円(事業費)

### 《路線位置図》



### 《現地状況写真》

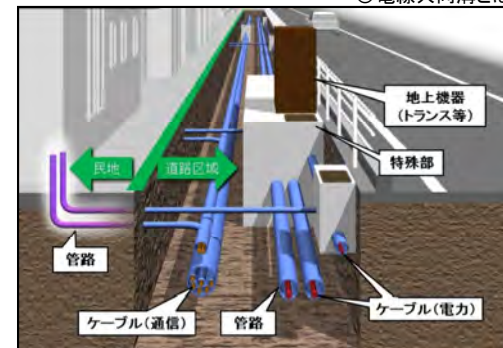


### 《整備効果》

- 災害等による電柱の倒壊がなくなることで、安定したライフラインの供給が可能となり、防災空間としての機能拡大が期待。
- 歩行空間が確保されることで、安全で快適な通行が可能。

### 《対策イメージ》

◎電線共同溝とは、道路の地下空間を活用して電力線、通信線等をまとめて収容する手法



# 国道266号 大矢野道路【補助】

- 国道266号大矢野道路は、熊本県熊本市と熊本県天草市を結ぶ熊本天草幹線道路の一部を構成し、天草地域と熊本都市圏間の「90分構想」の実現を目的とする道路。
- 災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、トンネル工事、道路改良工事、橋梁下部工事等を実施することで、道路ネットワークの機能強化を推進。

## 《位置図》



## 《諸元等》

事業区間：熊本県上天草市大矢野町上  
～大矢野町登立

延長：3.4km  
全体事業費：170億円  
R6補正：14.3億円(事業費)

## 《現地状況写真》



▲ 国道266号(現道)の渋滞状況



▲ 国道266号(現道)大雨による冠水

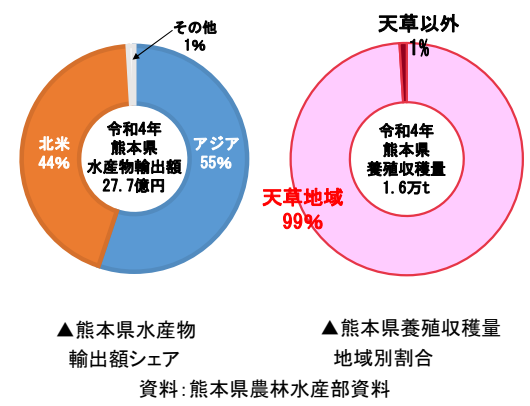
## 《路線平面図》



## 《整備効果》

- 災害、事故等に対する信頼性の高い道路ネットワークの形成。
- 水産物の輸送時間の短縮、定時性確保が図られ、海外販路の拡大が期待。
- 観光地へのアクセスが向上し、観光客の増加が期待。
- 交通量の分散による慢性的な交通渋滞の緩和が期待

- 主に北米・アジアへ養殖魚を中心に輸出
- 熊本県における養殖収穫量の99%を天草地域が占める！



# 一般県道 砂原四方寄線(池上工区)【補助】

■一般県道砂原四方寄線は、熊本環状道路の西側区間の一部を構成し、熊本市中心部の慢性的な交通渋滞を緩和するとともに、熊本市西部地域の利便性向上、物流の効率化及び救急医療活動に伴うアクセス時間の短縮等を目的とする道路。

■災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、舗装工事、安全施設設置工事を実施することで、道路ネットワークの機能強化を推進。

## 《位置図》



## 《諸元等》

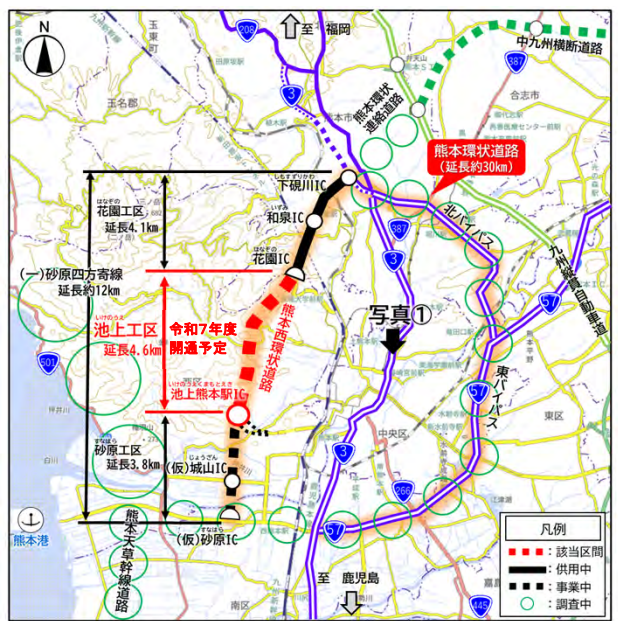
- 事業区間：熊本市西区池上町～花園7丁目
- 延長：4.6km
- 全体事業費：313億円
- R6補正：6.1億円(事業費)

## 《現地状況写真》



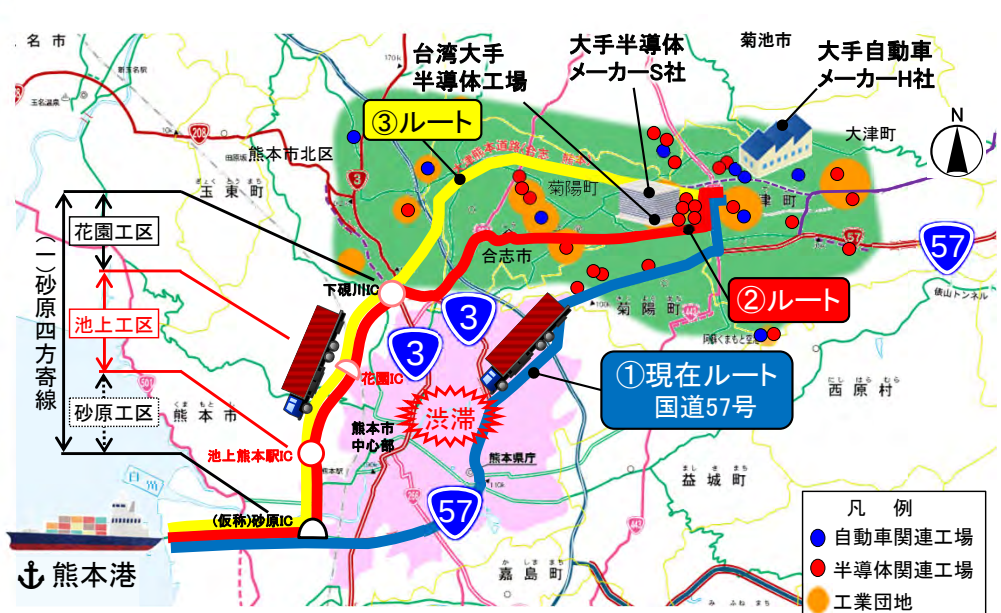
▲写真① 国道3号渋滞状況

## 《路線位置図》

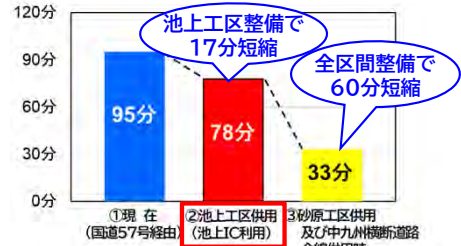


## 《整備効果》

- 交通の転換による熊本市中心部の慢性的な交通渋滞の緩和
- 渋滞箇所の回避により、速達性や定時性が向上し、物流を効率化

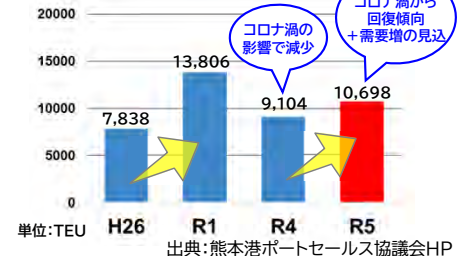


■道路整備により期待される所要時間  
大津町(H社付近)→熊本港まで(片道)



資料：ETC2.0プローブデータ(R2.9～11)  
混雑時旅行速度より算出(砂原四方寄線は設計速度)

■熊本港コンテナ取扱量



# 国道57号 竹田阿蘇道路【直轄】

- 国道57号竹田阿蘇道路は、大分市と熊本市を結ぶ中九州横断道路の一部を構成し、沿線地域の産業発展や地域活性化に寄与するとともに、災害に強いネットワークの構築を目的とする道路。
- 災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、改良工事を実施することで、道路ネットワークの機能強化を推進。

《位置図》



《諸元等》

|       |                                           |
|-------|-------------------------------------------|
| 事業区間  | 大分県竹田市大字会々<br>～熊本県阿蘇市波野大字小地野              |
| 延長    | 22.5km                                    |
| 全体事業費 | 769億円                                     |
| R6補正  | 14.1億円(事業費)<br>(うち熊本県 1.0億円<br>大分県13.1億円) |

《整備効果》

○ 当該道路の整備により、並行する国道57号の防災課題箇所を回避する緊急輸送道路として機能。



▲ 国道57号の通行止め状況

《路線位置図》



▲ R4.9 台風14号の被災状況



▲ H24.7 九州北部豪雨の被災状況

国道212号 三光本耶馬溪道路道路【直轄】

■国道212号三光本耶馬溪道路は、中津日田道路の一部を構成し、物流の効率化及び広域観光の振興を支援するとともに、災害に強いネットワークの構築を目的とする道路。

■災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、改良工事、橋梁上部工工事を実施することで、道路ネットワークの機能強化を推進。

### 《位置图》

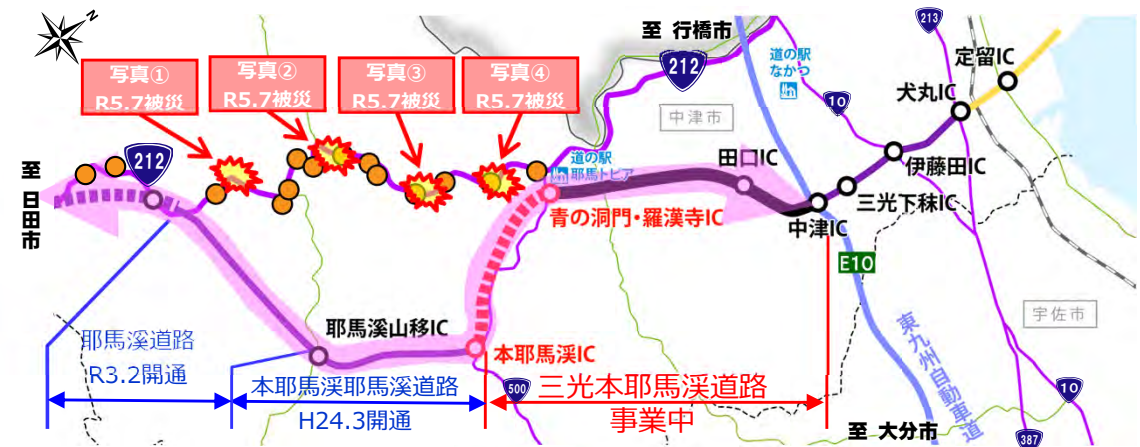


写真④：R5.7 路面冠水

※1: H24～R5の災害実績

●：災害による全面通行止め ※1

### 《路線位置図》



写真①：R5.7 道路護岸崩壊

写真②：R5.7 路肩洗堀

写真③：R5.7 道路護岸崩壊

# 大分210号 交通安全対策【直轄】

- 当該箇所は、近傍に野上<sup>のがみ</sup>小学校が立地し、児童の通学路として利用されているが、歩道幅員に一部狭小な個所があるため、大型車等との車両接触の恐れがあるなど歩行者等の安全が確保されていない状況。
- 本事業は、歩道の拡幅を行うことにより歩行者の安全・安心な歩行空間の確保図り、歩行者と車両の接触事故防止を図る事業。
- 通学路等の安全な通行を確保するため、補正予算の充当により、歩道拡幅工事を実施することで、令和3年度通学路合同点検結果等を踏まえた交通安全対策を推進。

## ○国道210号 野上東歩道整備

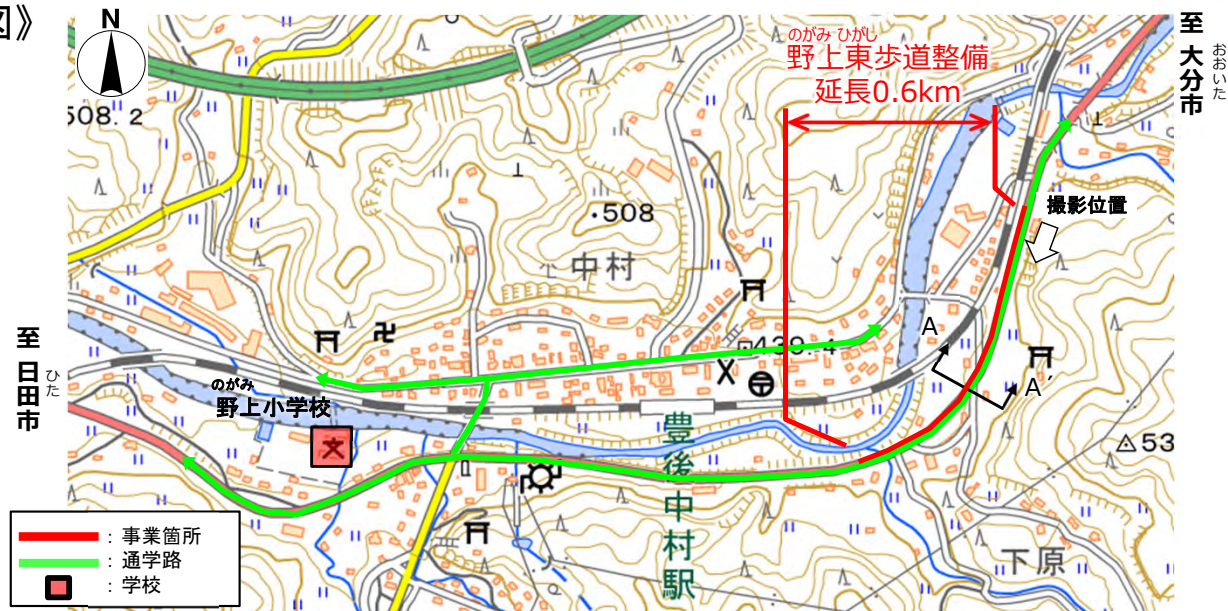
《位置図》



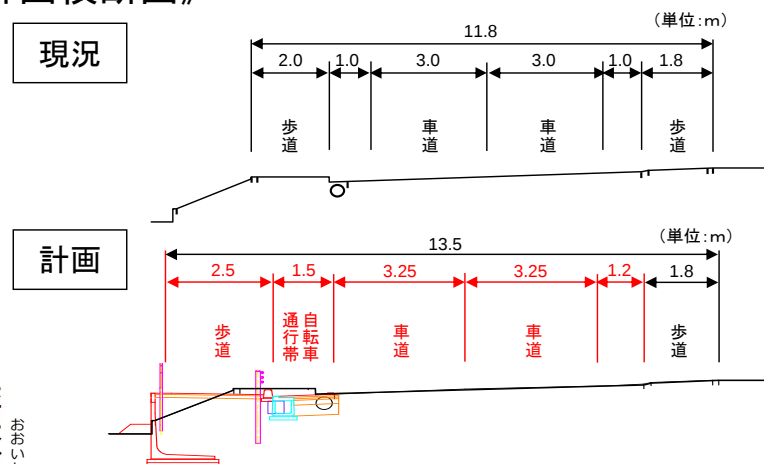
《諸元等》

事業区間：大分県玖珠郡九重町大字野上<sup>くす このえ まち のがみ</sup>  
延長：0.6km  
R6補正：0.8億円(事業費)

《平面図》



《計画横断図》



《現地状況写真》



# 大分10号 維持管理(防災・減災対策)【直轄】

■国道10号は、福岡県北九州市を起点とし大分県、宮崎県を經由し、鹿児島県鹿児島市に至る全長約490kmの主要幹線道路であり、第一次緊急輸送道路に指定。

■落石等による道路通行止めリスクを解消するため、補正予算の充当により、国道10号佐伯市弥生大字尺間地区において、落石防護柵工等の法面对策工事を実施することで、道路法面・盛土対策を推進。

## 《位置図》



## 《平面図》



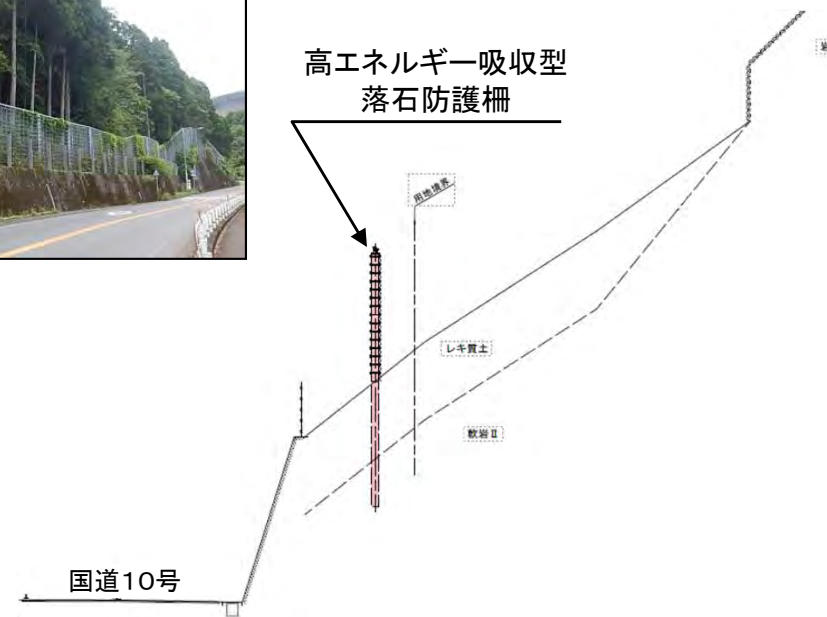
## 《諸元等》

事業区間 : 大分県佐伯市弥生大字尺間地区  
延長 : 約 0.2km  
R6補正 : 1.6億円(事業費)

## 《対策イメージ》



高エネルギー吸収型  
落石防護柵



## 《現地状況写真》



【全景①】



転石の状況

ひ た やまくに  
国道212号 日田山国道路【補助】

■ 国道212号日田山国道路は、中津日田道路の一部を構成し、国道212号の災害による全面通行止め箇所、冬期の凍結多発区間、道路防災点検要対策箇所及び線形不良箇所を回避することにより、生活圏の連携強化、大分自動車道及び重点港湾中津港へのアクセス強化による産業の活性化を目的とする道路。

■ 災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行確保するため、補正予算の充当により、改良工事を実施することで、道路ネットワークの機能強化を推進。

《位置図》



《諸元等》

事業区間：大分県中津市山国町字守実  
～日田市大字三和

延長：8.8km

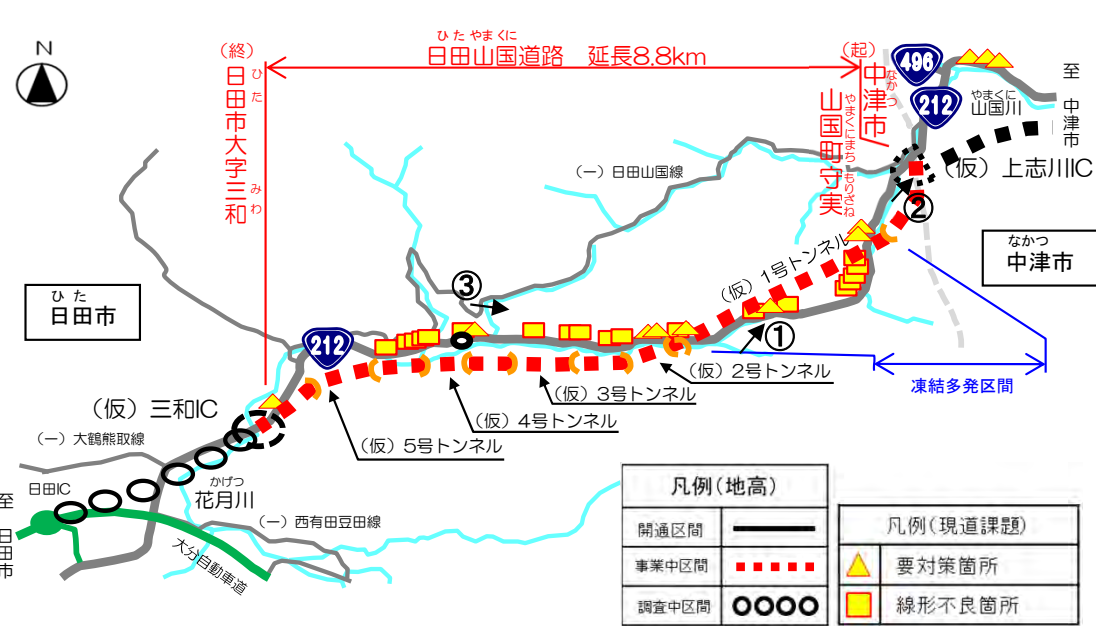
全体事業費：408億円

R6補正：40.0億円(事業費)

《現地状況写真》

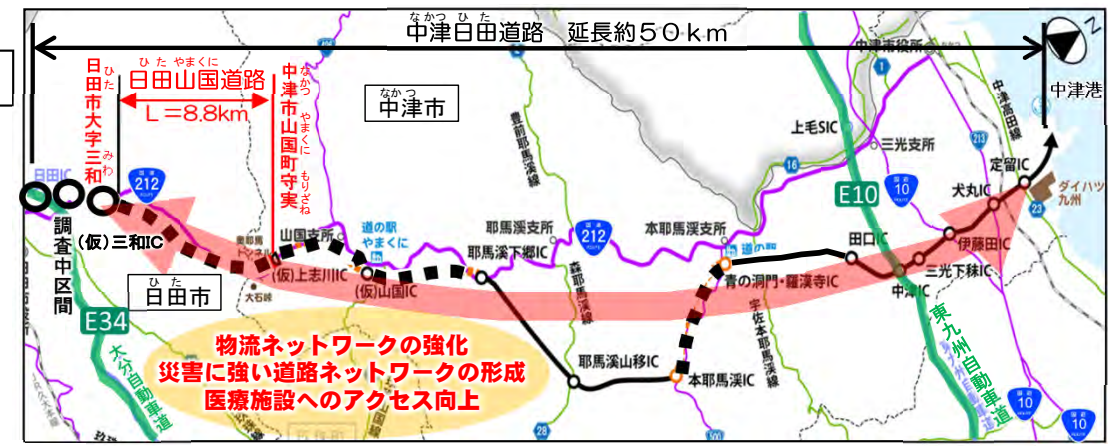


《路線位置図》



《整備効果》

- 災害、事故等に対する信頼性の高い道路ネットワークの形成
- 中津市・日田市から第3次救急医療施設（別府・大分・北九州・久留米）へのアクセス向上に寄与



# 国道218号 五ヶ瀬高千穂道路【直轄】

■国道218号五ヶ瀬高千穂道路は、九州横断自動車道延岡線の一部を構成し、国道218号の防災課題箇所及び線形不良箇所を回避することにより、走行性、安全性の向上や、災害時の救急活動等の防災機能向上に寄与する道路。

■災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、用地買収、改良工事、橋梁下部工工事を実施することで、道路ネットワークの機能強化を推進。

## 《位置図》



## 《諸元等》

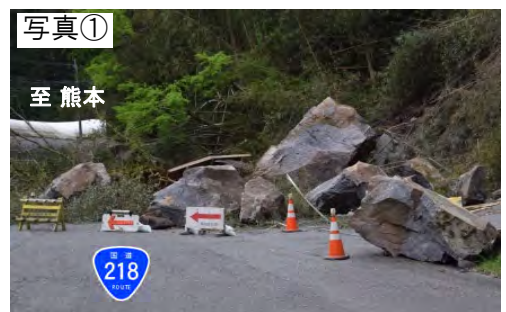
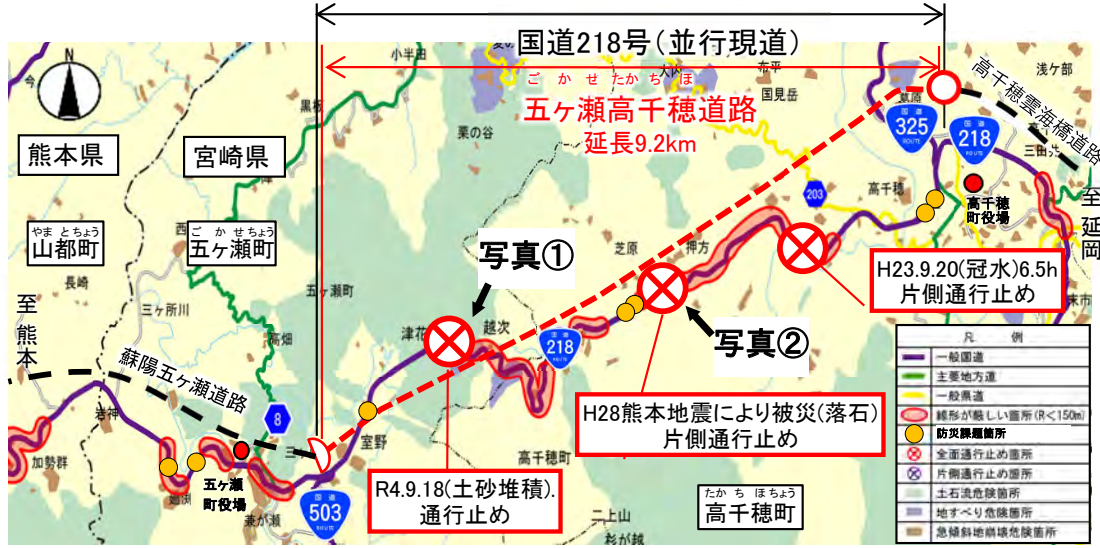
|       |                          |
|-------|--------------------------|
| 事業区間  | 宮崎県西臼杵郡五ヶ瀬町<br>～西臼杵郡高千穂町 |
| 延長    | 9.2km                    |
| 全体事業費 | 559億円                    |
| R6補正  | 17.4億円(事業費)              |

## 《路線位置図》



## 《整備効果》

○当該道路の整備により、国道218号の線形不良箇所(60箇所)や防災課題箇所(5箇所)等を回避する緊急輸送道路として機能し、道路ネットワークの機能強化を推進。



▲H28熊本地震 国道218号



▲R4台風14号 国道218号

# 国道220号 日南・志布志道路、油津・夏井道路、南郷奈留道路【直轄】

- 国道220号日南・志布志道路、油津・夏井道路、南郷奈留道路は、地域観光振興及び、木材輸送などの産業活動、医療活動を支援し、並行する国道220号の線形不良箇所や事故率の高い箇所等を回避するとともに、災害時の救助活動等にも機能する安全で円滑な高速ネットワークの形成を目的とする道路。
- 災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、国道220号日南・志布志道路において改良工事、橋梁上部工工事、油津・夏井道路において改良工事、橋梁下部工工事、南郷奈留道路において調査設計を実施することで、道路ネットワークの機能強化を推進。

## 《位置図》



## 《路線位置図》

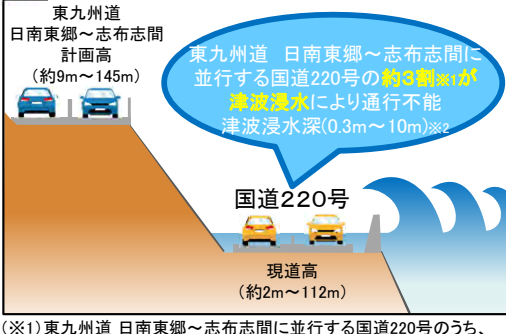


## 《諸元等》

|       |                                 |
|-------|---------------------------------|
| 事業区間  | 宮崎県日南市大字東弁分<br>～鹿児島県志布志市志布志町志布志 |
| 延長    | 40.7km                          |
| 全体事業費 | 1,970億円                         |
| R6補正  | 46.6億円(事業費)                     |

## 《整備効果》

- 並行する国道220号は、南海トラフ巨大地震に伴う津波による浸水想定路線。これまでに、法面崩壊や冠水による全面通行止めが発生。
- 当該道路の整備により、津波に対して十分な高さを確保し、大規模災害時における緊急輸送道路として機能することで、道路ネットワークの機能強化を推進。



(※1) 東九州道 日南東郷～志布志間に並行する国道220号のうち、最大津波浸水深(宮崎県、鹿児島県推定)と現道高を比較し、最大津波浸水深より低い区間の延長割合  
(※2) 出典：県としての新たな「津波浸水想定」の設定について【宮崎県】  
鹿児島県津波浸水想定の設定について【鹿児島県】

# 宮崎 東九州自動車道 維持管理(老朽化対策)【直轄】

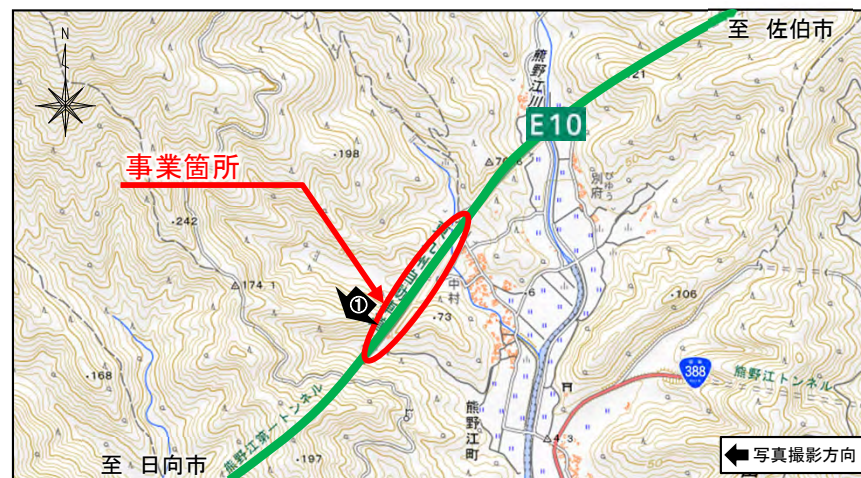
■東九州自動車道は、福岡県北九州市を起点とし、大分県、宮崎県を経由し、鹿児島県始良町に至る全長約436kmの高速道路であり、第一次緊急輸送道路に指定。

■予防保全型インフラメンテナンスへの転換を図るため、補正予算の充当により、東九州道延岡市熊野江町地区外において、路盤打換工事等を実施することで、早期に対策が必要な道路施設の老朽化対策を集中的に実施。

## 《位置図》



## 《平面図》



## 《諸元等》

事業区間 : 宮崎県延岡市熊野江町地区外  
延長 : 約0.5km  
R6補正 : 1.2億円(事業費)

## 《現地状況写真》



【全景①】



【近景】

## 《対策イメージ》



# 一般県道 学園木花台本郷北方線 山下工区【補助】

- 一般県道学園木花台本郷北方線は、宮崎学園都市中心部を起点とし、主要幹線である国道220号南バイパスとを結ぶ一般県道で、市内中心部へのアクセス強化、防災力強化、都市近郊における円滑な移動の支援および交通拠点へのアクセスの向上などを目的とする道路。
- 迅速かつ円滑な物流・人流を確保するため、補正予算の充当により、一般県道学園木花台本郷北方線の道路改良工事を実施することで、地域を支える産業等の生産性向上に寄与する道路ネットワークの整備等を推進。

## 《位置図》



## 《路線位置図》



## 《諸元等》

- 事業区間 : 宮崎県宮崎市大字熊野
- 延長 : 1.1km
- 全体事業費 : 55.5億円
- R6補正 : 0.9億円(事業費)

## 《現地状況写真》



## 《整備効果》

- 当該区間の整備により、拠点施設～宮崎港間の所要時間が約7分短縮されることで、アクセスが向上するとともに、定時性が確保される。
- 並行路線に集中していた交通が分散されることで渋滞緩和が図られるとともに、事故多発交差点を避けることができ、円滑な物流・人流が確保できる。

## 《拠点施設～宮崎港までの所要時間》

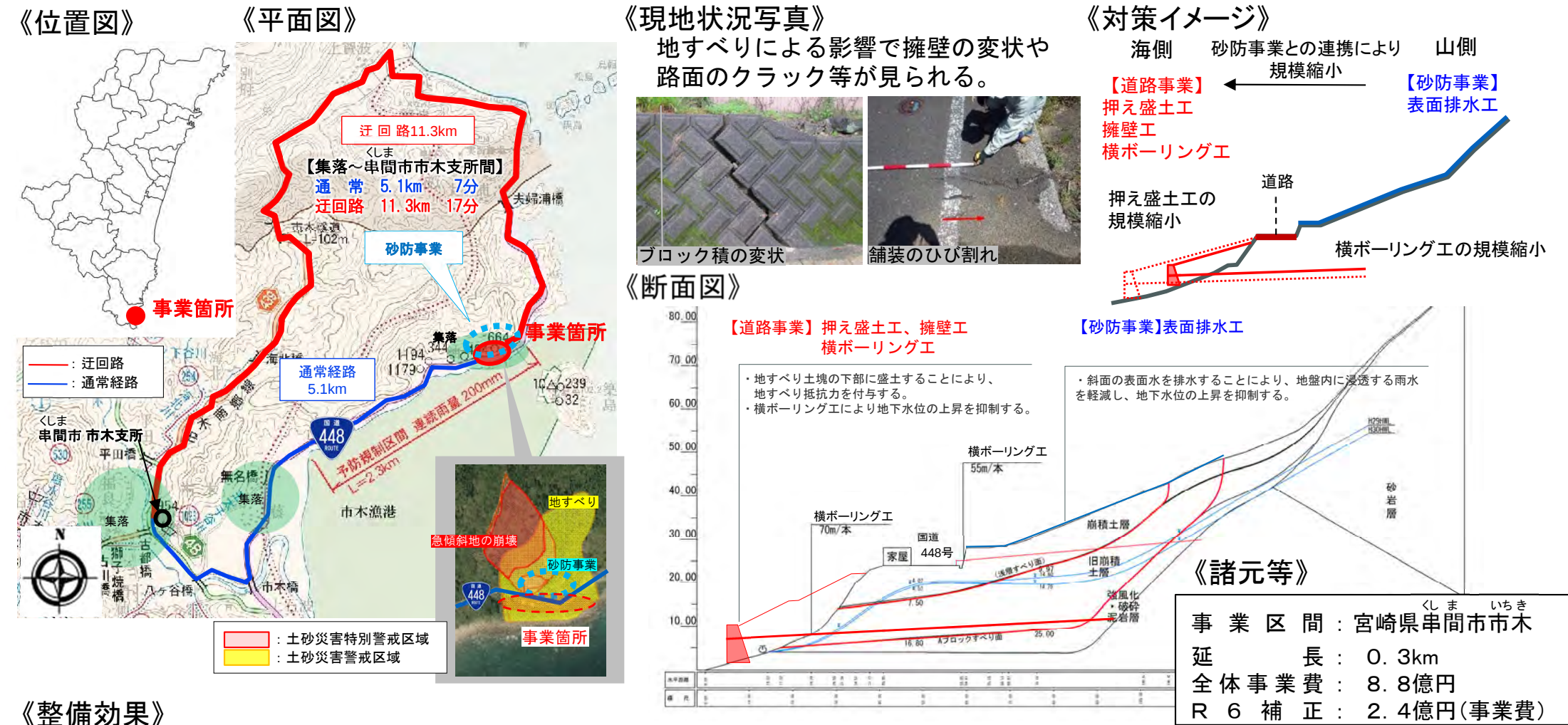
|     | 距離     | 所要時間 |
|-----|--------|------|
| 整備前 | 12.8km | 22分  |
| 整備後 | 12.1km | 15分  |

約7分  
短縮



# 国道448号(磯平工区) 土砂災害対策道路事業【補助】

- 国道448号は、第二次緊急輸送道路に指定されており、災害時に避難・救助・物資供給等の応急活動を支える重要な道路。
- 当該道路は地すべりの影響で擁壁の変状や路面のクラック等が見られ、道路が寸断されると広域迂回が発生するため、早急な対策が必要。
- 災害による道路ネットワークの寸断を防止するため、補正予算の充当により、国道448号の工事(擁壁工等)実施することで、道路法面・盛土対策を推進。



《整備効果》

- ・砂防事業との連携により、道路事業における擁壁工および押え盛土工の規模を縮小することが可能となり、コスト縮減が図られる。
- ・脆弱箇所が解消することにより、緊急輸送道路としての安全な交通の確保が可能となる。

# 国道3号 阿久根川内道路【直轄】

- 国道3号阿久根川内道路は、南九州西回り自動車道の一部を構成し、九州南西部の地域経済の活性化及び高速定時制の確保を目的とする道路。
- 物流・人流の速達性向上のため、補正予算の充当により、改良工事、橋梁下部工工事を実施することで、地域を支える産業等の生産性向上に寄与し、地方創生につながる道路の整備を推進。

## 《位置図》



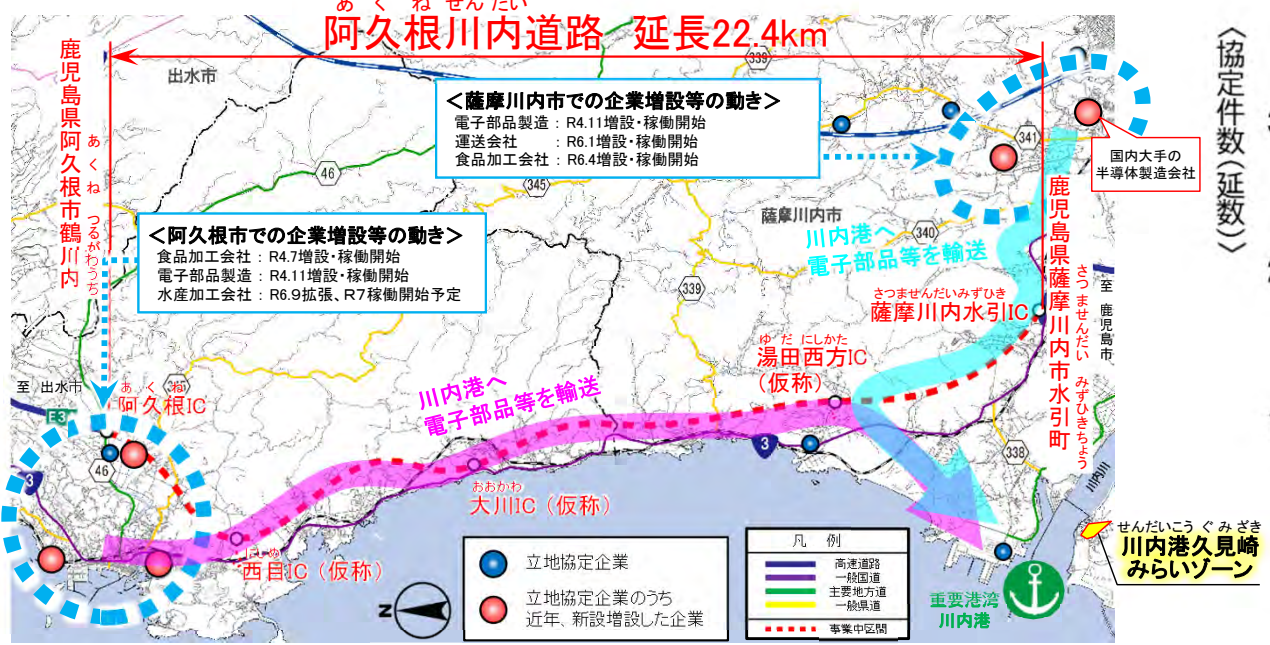
## 《諸元等》

|       |                          |
|-------|--------------------------|
| 事業区間  | 鹿児島県阿久根市鶴川内<br>～薩摩川内市水引町 |
| 延長    | 22.4km                   |
| 全体事業費 | 1,050億円                  |
| R6補正  | 13.7億円(事業費)              |

## 《整備効果》

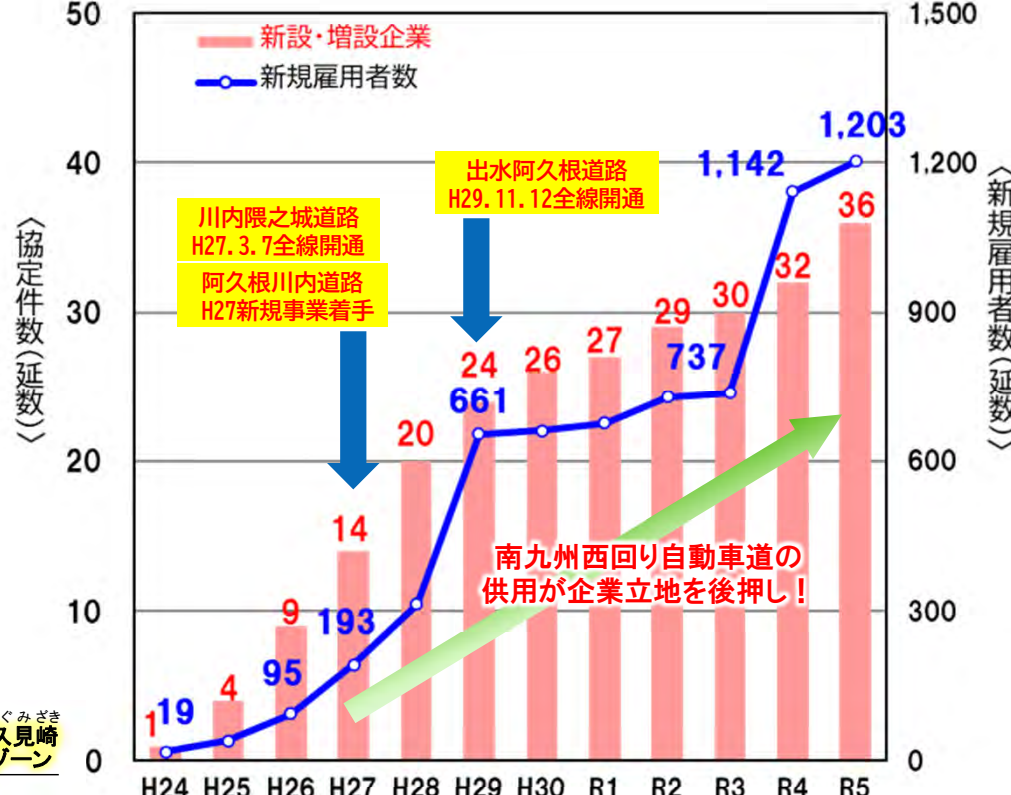
- 南九州西回り自動車道の開通に伴い国内大手の半導体会社などの企業進出が増加しており、新たな工業団地(川内港久見崎みらいゾーン)が建設される等、企業立地が進んでいる。
- 阿久根川内道路の整備により、地域におけるさらなる雇用の促進、経済活動の支援が期待。

## 《路線位置図》



▲ 阿久根市、薩摩川内市の立地協定(H24～R5)企業位置図

資料：薩摩川内市 提供資料  
鹿児島県HP



※R4年度以降に立地協定した6社の新規雇用者数は見込み人数  
出典：薩摩川内市(R6.2.22時点)

▲ 薩摩川内市の「立地協定締結件数」及び「新規雇用者数」の推移

# 国道220号 牛根境防災【直轄】

- 国道220号牛根境防災は、異常気象時の事前通行規制や斜面崩壊等の災害による通行止めを回避し、災害に強い道路ネットワークの確保を目的とする道路。
- 災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、改良工事を実施することで、道路ネットワークの機能強化を推進。

## 《位置図》

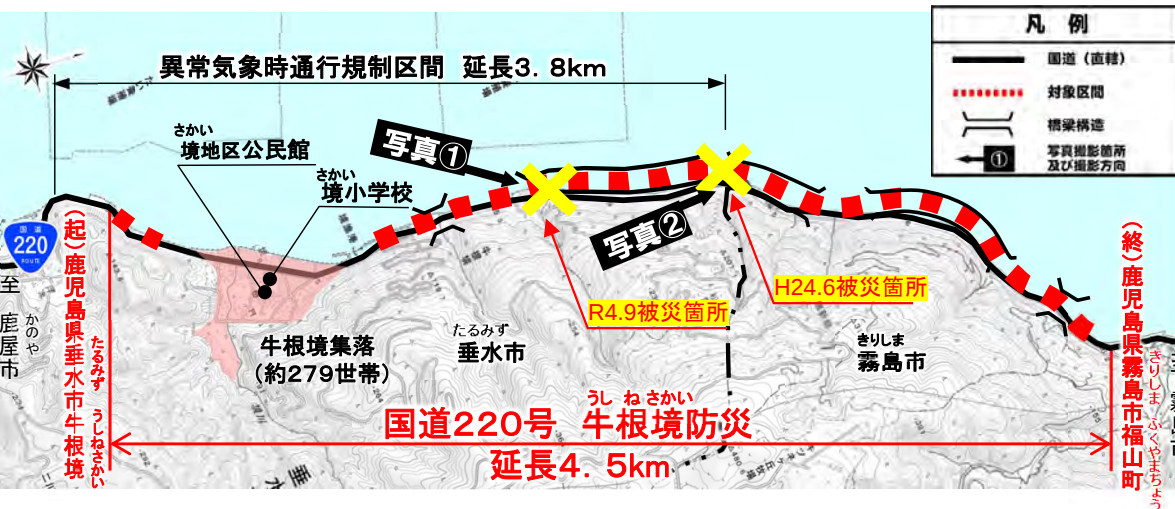


## 《諸元等》

事業区間：鹿児島県垂水市牛根境  
～霧島市福山町

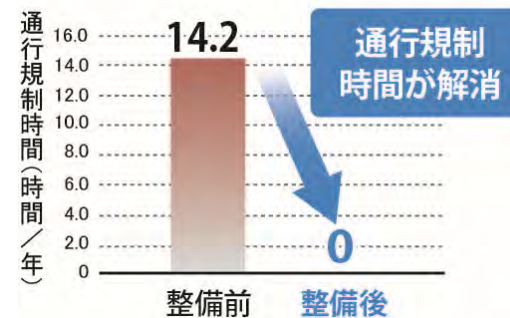
延長：4.5km  
全体事業費：300億円  
R6補正：6.7億円(事業費)

## 《路線位置図》

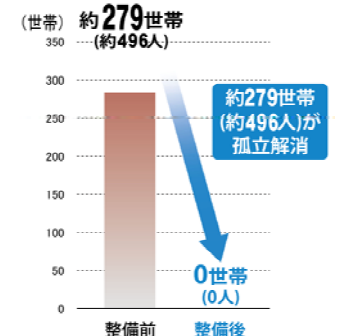


## 《整備効果》

- 当該道路の整備により、異常気象時の事前通行規制区間による孤立集落の発生を解消し、道路ネットワークの機能強化を推進。



▲ 通行規制時間  
(国道220号牛根境防災4.5km)  
出典：H15～R5の通行規制実績  
(大隅河川国道事務所)



▲ 異常気象時に孤立する可能性がある世帯数  
出典：令和2年国勢調査



▲ R4.9 国道220号への土砂流入



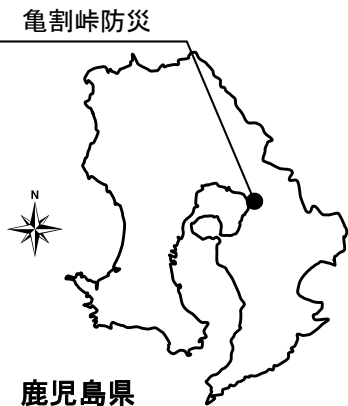
▲ H24.6 斜面の崩壊

# 国道220号 亀割峠防災【直轄】

■国道220号亀割峠防災は、鹿児島県垂水市と霧島市を結ぶ唯一の幹線道路であり、土砂災害時の通行止めを回避し、日常生活や地域産業を支える道路として信頼性の高いルート of 確保を目的とする防災事業。

■災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、用地買収、改良工事を実施することで、道路ネットワークの機能強化を推進。

## 《位置図》



## 《諸元等》

|       |                          |
|-------|--------------------------|
| 事業区間  | 鹿児島県霧島市福山町福山<br>～霧島市国分敷根 |
| 延長    | 2.3km                    |
| 全体事業費 | 130億円                    |
| R6補正  | 5.0億円(事業費)               |

## 《路線位置図》



## 《整備効果》

○当該道路の整備により、災害による全面通行止めの発生を解消し、道路ネットワークの機能強化を推進。



写真①



▲ 急峻で厳しい平面線形状況

| 凡 例                                        | 垂水漁港～国分ICの所要時間                |
|--------------------------------------------|-------------------------------|
| 通常時(一般国道220号)                              | 通常時(国道220号)<br>約30分           |
| 迂回路(国道504号)                                | 迂回路(東九州道経由)<br>3時間以上<br>(約6倍) |
| 迂回路(東九州道)                                  |                               |
| X 迂回候補県道の全面通行規制箇所(H27～R5)<br>※事故による通行規制は除く |                               |

◀ 【国道220号通行止め時の迂回路】  
(垂水漁港～国分IC方面)

写真②



▲ 斜面の崩壊 (H27.6)

写真③



▲ 斜面の崩壊 (H5.8)

# 鹿児島220号 交通安全対策【直轄】

- 当該箇所は、近傍に大崎小学校や大崎中学校が立地し、児童の通学路として利用されているが、歩道幅員狭小な区間があるため、歩行者等の安全が確保されていない状況。
- 本事業は、自歩道整備等を行うことにより歩行者や自転車の安全・安心な通行空間の確保を行う事業。
- 通学路等の安全な通行を確保するため、補正予算の充当により、歩道拡幅工事を実施することで令和3年度通学路合同点検結果等を踏まえた交通安全対策を推進。

## ○国道220号 益丸自歩道整備

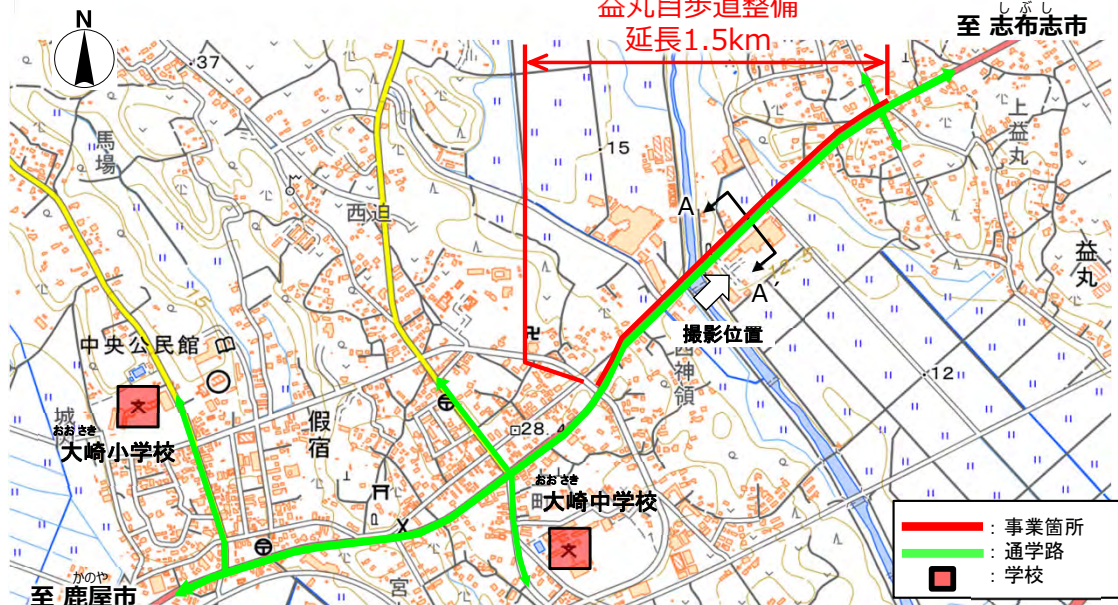
《位置図》



《諸元等》

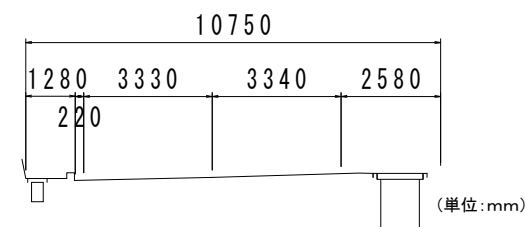
事業区間：鹿児島県曾於郡大崎町益丸  
延長：1.5km  
R6補正：2.5億円(事業費)

《平面図》

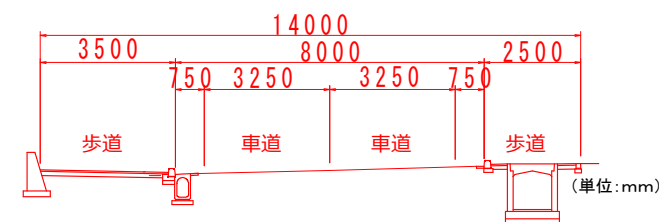


《計画横断図》

現況



計画



《現地状況写真》

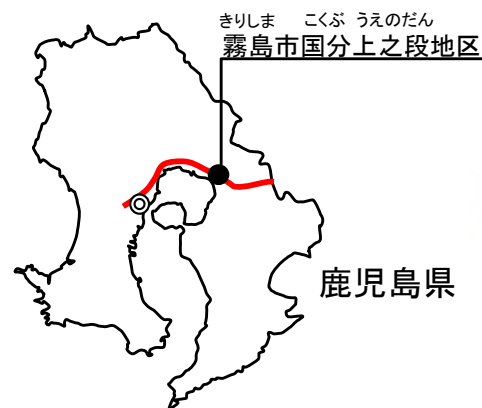


# 鹿児島10号 維持管理(防災・減災対策)【直轄】

■国道10号は、福岡県北九州市を起点とし大分県、宮崎県を經由し、鹿児島県鹿児島市に至る全長約490kmの主要幹線道路であり、第一次緊急輸送道路に指定。

■土砂災害等による道路の通行止めのリスクを解消するため、補正予算の充当により、国道10号霧島市国分上之段地区において、現場吹付法枠工等の法面对策工事を実施することで、道路法面・盛土対策を推進。

## 《位置図》



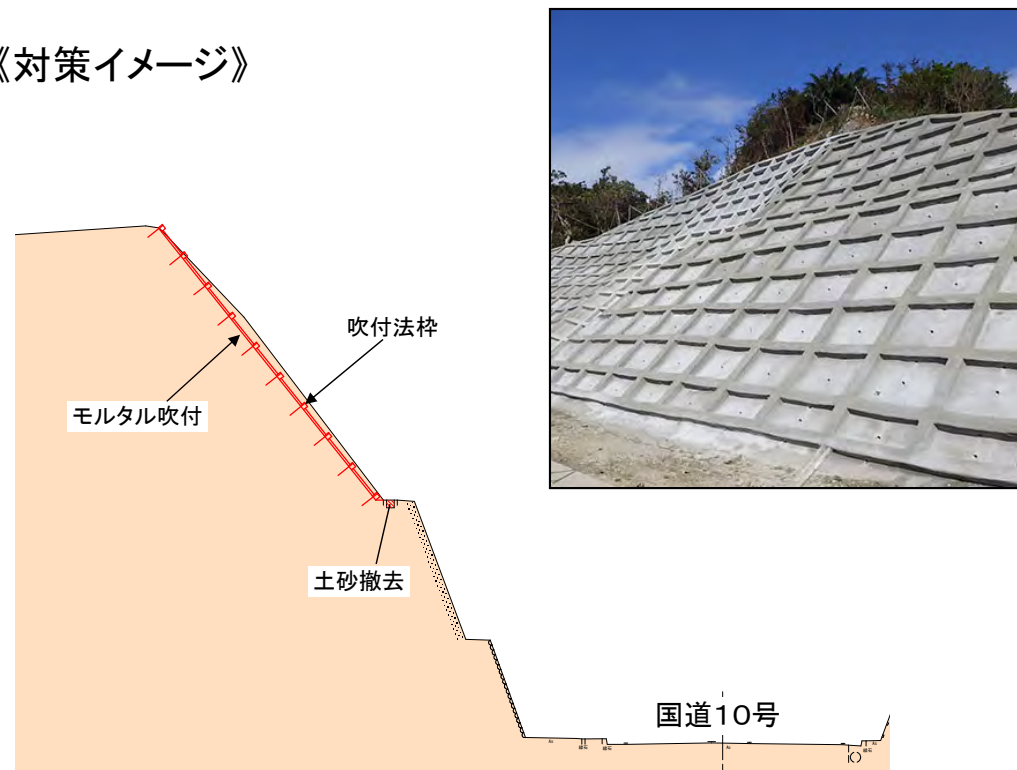
## 《平面図》



## 《諸元等》

事業区間 : 鹿児島県霧島市上之段地区  
延長 : 約 0.1km  
R6補正 : 0.3億円(事業費)

## 《対策イメージ》



## 《現地状況写真》



【全景①】



【近景】

# 国道 504号 阿久根高尾野道路【補助】

■国道504号阿久根高尾野道路は、北薩地域と鹿児島空港を結ぶ北薩横断道路の一部を構成し、九州縦貫自動車道や南九州西回り自動車道など一体となった広域ネットワークを形成する道路であり、鹿児島空港へのアクセス向上による水産業の販路拡大や北薩地域の産業活性化に資する道路。

■災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、用地買収・改良工事・橋梁設計等を実施することで道路ネットワークの機能強化を推進。

## 《位置図》



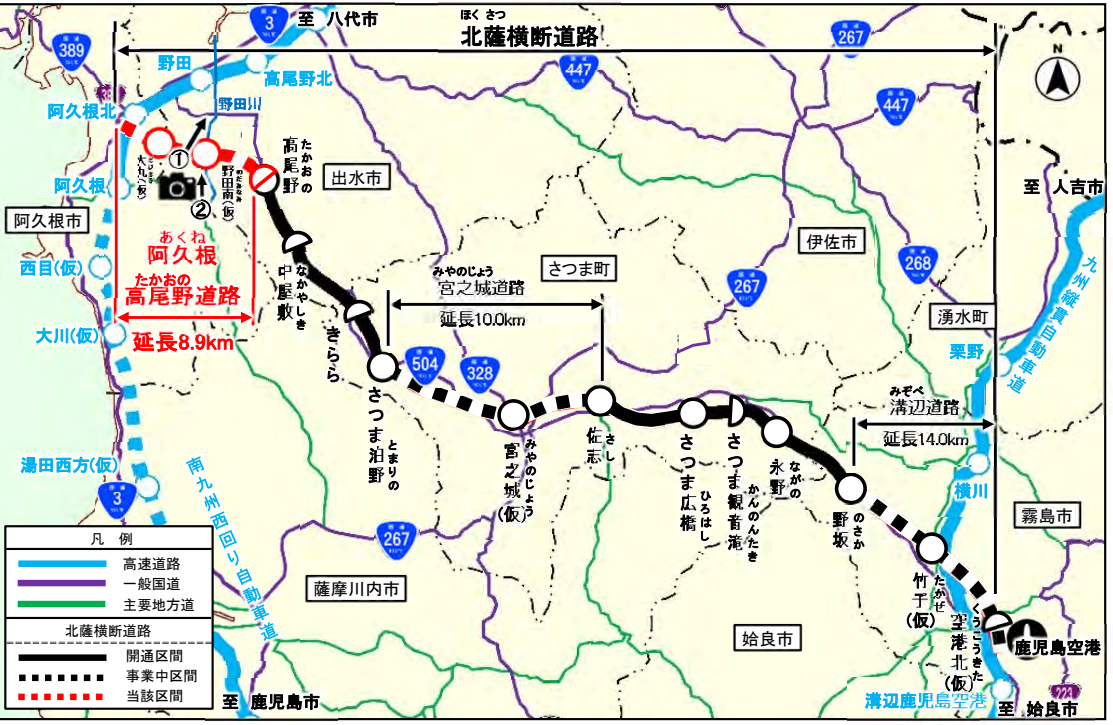
## 《諸元等》

|       |                                |
|-------|--------------------------------|
| 事業区間  | 鹿児島県出水市高尾野町下高尾野<br>～鹿児島県阿久根市折口 |
| 延長    | 8.9 km                         |
| 全体事業費 | 125億円                          |
| R6補正  | 7.5億円（事業費）                     |

## 《現地状況写真》

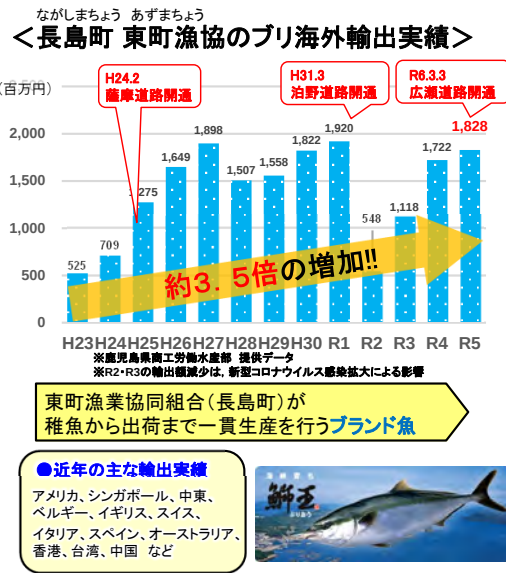


## 《路線位置図》



## 《整備効果》

- 災害、事故等に対する信頼性の高い道路ネットワークの形成。
- 鹿児島空港へのアクセス向上に伴い、これまで長距離輸送に頼ってきた特産品の水産物は、鮮度向上が図られ、国内外を問わず飛躍的な販路拡大が見込まれる。



一般県道郡元鹿児島港線 電線共同溝(無電柱化推進計画)【補助】

- 一般県道郡元鹿児島港線は、鹿児島市南部を縦断し、国道225号線に接続する交通量の多い路線であり、第2次緊急輸送道路に指定。
- 電柱倒壊による道路の通行止めのリスクを解消するため、補正予算の充当により、鹿児島県無電柱化推進計画に基づく事業を推進することで、緊急輸送道路等における無電柱化を推進。

《位置図》



《諸元等》

- 《無電柱化推進計画》
  - 計画の名称: 鹿児島県無電柱化推進計画
  - 事業主体: 鹿児島県
  - 事業箇所数: 5箇所
  - R6補正: 2.4億円(事業費)
- 《代表事例》
  - 路線図: 一般県道郡元鹿児島港線
  - 事業箇所: 鹿児島市東群元町～宇宿2丁目
  - 整備延長: 3.6km(1.8km×両側)

《現地状況写真》



《路線平面図》



《対策イメージ》

◎電線共同溝とは、道路の地下空間を活用して電力線、通信線等をまとめて収容する手法

